新宅 睦仁 / SHINTAKU Tomoni

最終更新日 :2025/03/21



1982 年　広島県生まれ
2005 年　九州産業大学芸術学部美術学科卒業
2013 年　新宿調理師専門学校調理師本科卒業
2016 年 -2018 年 シンガポールにて活動
2019 年 -2020 年 アメリカ ロサンゼルスにて活動
2021 年 - 現在オランダ在住

個展

2025 年 「BENTO」DE BOUWPUT、アムステルダム
2018 年 「COLOUR ME WELL」One East Asia Gallery、シンガポール
2016 年 「コンビニ弁当の山ーTime is money.」トーキョーワンダーサイト渋谷、東京
2016 年 「コンビニ弁当の山」静岡市クリエーター支援センター（CCC）、静岡
2015 年 「カップヌードルの滝」HAGISO、東京
2014 年 「牛丼の滝」沢田マンションギャラリー room38、高知

グループ展

2023 年 「LABOURS OF LOVE」TREEHOUSE NDSM、アムステルダム
2020 年 「2020年の栄光」YUMI ADACHI CONTEMPORARY/あをば荘、東京
2020 年 「GOOD TROUBLE」WhiteBox、ニューヨーク
2020 年 「MIND THE GAP」THE blank GALLERY、東京
2019 年 「アート解放区代官山」TENOHA 代官山、東京
2019 年 「Satan's Food Court」Art Share L.A.、ロサンゼルス
2019 年 「11th Annual 50|50 Show」Sanchez Art Center、サンフランシスコ
2019 年 「Let Me Eat Cake, Too」Blue Roof Studio、ロサンゼルス
2019 年 「TOCA 2019 Southbay Festival of the Arts Juried Art Show」Ken Miller Center、ロサンゼルス
2019 年 「KITCHEN」ART Space ZERO-POINT、東京
2018 年 「Art Gemini Prize 2018 Finalists' Exhibition」Menier Gallery、ロンドン
2018 年 「SINGAPORE INTERNATIONAL ARTIST FAIR」Suntec City、シンガポール
2017 年 「UMU-Q - 九州産業大学芸術学部優秀作品展」上野の森美術館、東京
2017 年 「ミニ UMU-Q」ターナーギャラリー、東京
2017 年 「UMU-Q - 九州産業大学芸術学部優秀作品展」九州産業大学芸術学部アートギャラリー、福岡
2016 年 「Independent　TAGBOAT ART FES」ヒューリックホール、東京
2016 年 「a3 project / season 2016」MATSUO MEGUMI +VOICE GALLERY pfs/w、京都
2015 年 「退廃藝術展 2015」DESK/okumura、東京
2015 年 「美術食堂」ART SPACE ZERO-ONE、大阪
2013 年 「POSSIBLY TALENTED Vol.3」THE blank GALLERY、東京
2013 年 「第 6 回 ガキグラ展」ギャラリーおいし、福岡
2012 年 「YOUNG ARTISTS JAPAN Vol.5」東京デザイナーズウィーク（TDW）内、東京
2004 年 「師寿睦仁展」LAPIN ET HALOT、東京
2000 年 「大覚展」NHK ギャラリー、福岡

受賞・入選

2023 年　第 3 回 NY 公募展アートインキュベーション 優秀賞
2018 年　Art Gemini Prize 2018 ショートリスト選出
2015 年　TWS-Emerging 2016 入選
2015 年　CCC 展覧会企画公募 New Creators Competition 2016 入選
2015 年　トーキョーワンダーウォール公募 2015 入選
2015 年　ワンダーシード 2015 入選
2013 年　第 2 回 宮本三郎記念デッサン大賞展 入選
2005 年　別府アジアビエンナーレ 2005 入選
2002 年　第 34 回西日本美術展 入選
2001 年　第 37 回福岡市美術展 福岡市議会議長賞

アートフェア

2018 年　Affordable Art Fair(シンガポール)
2018 年　ART FAIR ASIA FUKUOKA 2018(福岡)
2018 年　Art Jakarta 2018(インドネシア)

2018 年　Art Gyeongju 2018(韓国)
2018 年　ART FORMOSA 2018(台湾)
2018 年　Busan Annual Market of Art 2018(韓国)

書籍 / メディア

2019 年　Murze Issue Six(Murze)
2018 年　Funan "Funan2.0"-smart living at its best.Welcome home. (CM 出演)
2018 年　Manulife Singapore "Godzilla" -it's Good To MOVE (CM 出演)
2016 年　トーキョーワンダーサイトアニュアル 2016 公益財団法人東京歴史文化財団
2015 年　ISE NY Artist Registry 2015 掲載

アーティスト・ステートメント

美術大学を卒業後、調理師専門学校に学んだ経験から、食物をテーマに作品を制作している。ハンバーガーやケーキなど、卑近な食べ物を用いて、現代の状況や社会問題をクリティカルに、単純明快かつシニカルに表現することを試みている。近年は、LA のホームレスとハンバーガーをかじり合う、アムステルダムの街頭に立って一般人を巻き込むなど、現実社会での実践的なアクションを核とする制作に取り組んでいる。

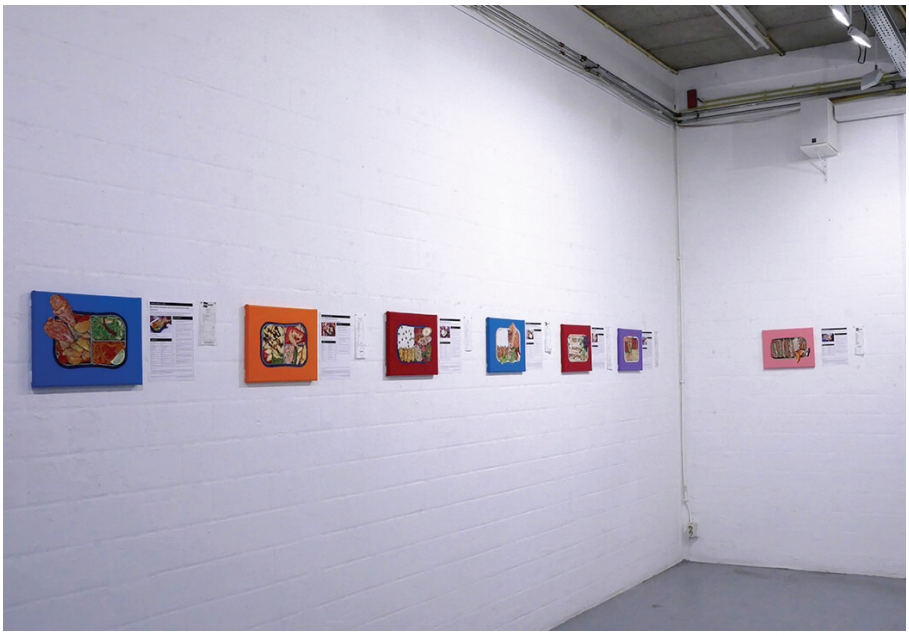
問い合わせ先

新宅 睦仁 / SHINTAKU Tomoni
MAIL: info@tomonishintaku.com
WEB: http://www.tomonishintaku.com

X (旧Twitter): https://twitter.com/tomonishintaku
facebook: https://www.facebook.com/tomoni.shintaku
Instagram: https://www.instagram.com/tomonishintaku

Exhibition

2025 - 個展「BENTO」DE BOUWPUT/アムステルダム







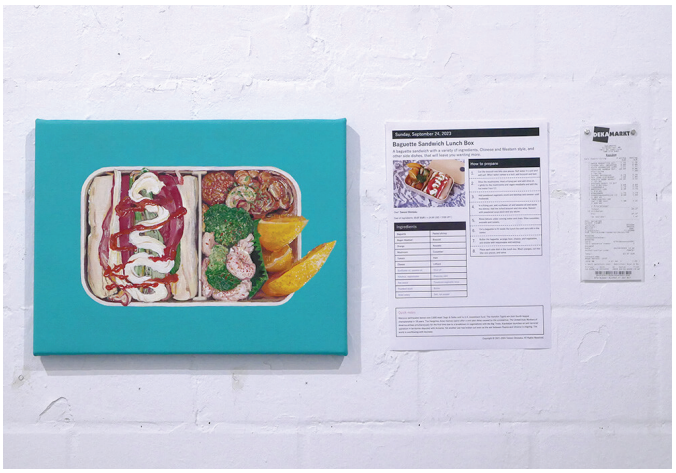
展覧会概要

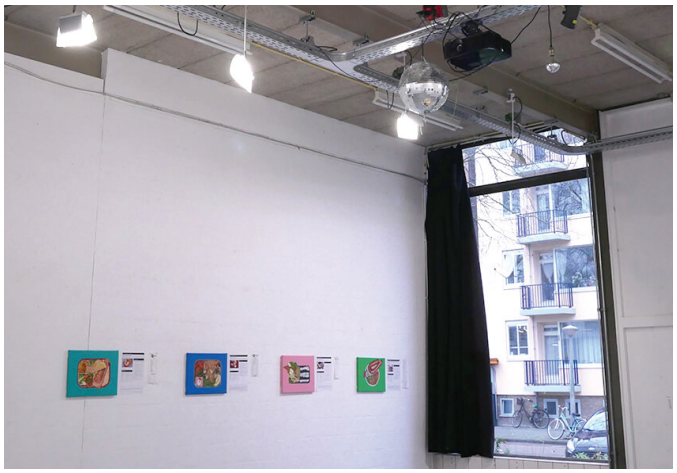
本展示は、私の代表作である「BENTO」シリーズを中心に構成されている。このシリーズは、日本独自の弁当文化に、禅やミニマリズムの思想を重ねる試みとして2016年に始まった。しかし、次第に記録性やドキュメンタリー的な側面が強調されるようになり、現在では10年にわたる長期プロジェクトとして展開している。2025年時点でその4年目を迎え、毎月1点、合計120点の作品を制作し続けることで、時間の流れとともに作品の意味も変化していく。

弁当は生活に密着している。食という観点でとらえれば、それは人間の人生そのものでさえある。究極、人間は食うために生きている。この、生まれてから死ぬまで途切れることのない営みは、来る日来る日も、飽きもせず繰り返されることにその本質がある。だからこそ、この「BENTO」シリーズは、長期的に、淡々と続けられるべきだと考える。

月々、オランダや日本をはじめ、世界各国のスーパーで食材を調達し、弁当を作るなかで、地域ごとの文化的な違いを実感すると同時に、インフレなどの経済的変化にも直面する。購入した食材のレシートは単なる記録ではなく、時代の変遷を映し出す史料となり得る。また、レシピの余白にその時々のニュースを記録することで、鑑賞者に過去の出来事を想起させ、現在との対比を促す。

「BENTO」という展示を通じて、アーティストとしての私自身、そして鑑賞者もまた、変わり映えのしない日常生活とは裏腹に、大きな時代のうねりに巻き込まれながら生きているのだという事実を改めて発見できることを願っている。





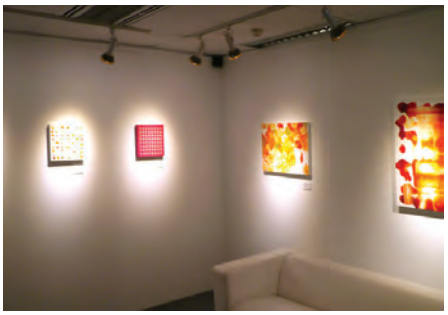






2018 - 個展「COLOUR ME WELL」One East Asia Gallery/シンガポール







展覧会概要

新宅の食物に対する考え方はユニークだ。彼の作品は驚くほど美しく、独特である。食物をテーマとすることで、この現代社会で人々が直面している問題を提示する。本展「COLOUR ME WELL」は、色とパターンを組み合わせた3つのシリーズで構成される。 新宅は、パターンを通し、現代において食物は単なる生活必需品ではないという、彼の食物についての考え方を示す。彼の鮮やかな色使いは、提示された食物――贅沢な食べ物とされているケーキなど――の軽薄さを誇張するため、彼の思想を端的に示すものであろう。また、パターンという繰り返しの手法は、現代社会の人々は、食べることは生きるために必要不可欠であるにもかかわらず、食べ物はあって当然と考えていることを示唆しているようにも思われる。











個展「コンビニ弁当の山ーTime is money.」トーキョーワンダーサイト渋谷/東京

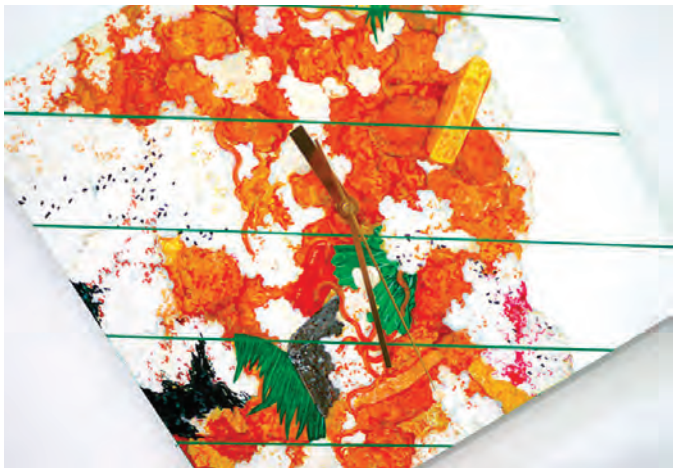




展示概要

アナログ時計を取り付けたパネル80枚を組み合わせ、コンビニ弁当にある賞味期限に着目して構成する。賞味期限を1秒でも過ぎればゴミとして廃棄されるコンビニ弁当は、まさに「時は金なり」を地で行くものである。その是非よりも、事実そのように動いている現代社会を浮き彫りにするインスタレーション。





展示詳細

《コンビニ弁当の山ーTime is money.》2016年

・絵画部分：パネルにアクリル、時計ムーブメント、時計針、単三電池 / 各30×30(cm) 全80点、サイズ可変

・音声部分：パワーアンプ、ラウドスピーカー×4台、MP3プレーヤー







「コンビニ弁当の山ーTime is money.」についての講評





経済が最優先される日本では、日常に紛れた闇の部分で負の出来事が進行する。その一つが食品廃棄だ。美術大学だけでなく、調理師学校にも通った経歴のある新宅は、この問題を制作のテーマにしている。
新宅の試算によれば、全国の某コンビニエンスストアが賞味期限切れで廃棄する弁当は、一日に51万食（2億5500万円）にも達すると言う。驚くべき数字だ。この事実に私自身が衝撃を受けたことを、まずは正直に告白したい。
このテーマは、美術の分野で如何に表現し得るのか。展示では廃棄される「コンビニ弁当」に着眼しつつ、コンセプチュアルなアプローチと絵画表現が併用されていた。作家の素質なのか、作品の構成要素は慎重に吟味され、テーマに綿密に関連づけられている。時計は賞味期限を暗示し、レジのバーコードリーダー音が時報のごとく時を刻む。また、廃棄食品の山の稜線は国内総生産（GDP）の推移を示し、パネルの側面はコンビニの三色のシンボルカラーで彩られている。
コンセプトの整合性が見事である一方、ロジックを越境する表情を湛えていたのが、描かれた廃棄食品のイメージではなかろうか。確かに、これらの絵画の造形は美学的要請というより、その色彩や形態は流通する食品（揚物、スパゲティ、弁当仕切りのバランなど）に依拠している。即ち、審美的表現とは一線を画する絵画なのだ。にもかかわらず、食品を即物的（オブジェクティヴ）に描写した絵画は異様なイメージを放ち、シュルレアリスムにも通じる名状し難い余韻を残していた。消費社会の食料品をシニカルに描くアンディ・ウォーホルのキャンベルスープ缶などとは全く異なる、作者独自の視線である。

平野 到（埼玉県立近代美術館 学芸主幹）

「TWS-Emerging 2016」のプログラムの一環として執筆いただきました。

2016 - 個展「コンビニ弁当の山」静岡市クリエーター支援センター（CCC）/静岡







展示概要

約5m×3mの「コンビニ弁当の山」の絵画を中心に、「鏡」、「酒」、「音楽」を組み合わせ、宗教的儀式として構成したインスタレーション。





展示詳細

《コンビニ弁当の山@CCC》2016年
絵画部分：パネルにモンバル紙、水彩、260×486（cm)、アルミカップ部分：底面にミラーシートを貼付したアルミカップ・中敷き用の透明プラカップ各約2000個、日本酒、食品添加物流動パラフィン、防腐剤、サイズ可変、賽銭部分：1円硬貨、5円硬貨、10円硬貨、50円硬貨、100円硬貨、500円硬貨、合計約2000枚、サイズ可変
音声部分：パワーアンプ、ラウドスピーカー4台、MP3プレーヤー







2015 - 個展「カップヌードルの滝」 HAGISO/東京





展示概要

5m超の巻物状のカップヌードルの滝の絵を吊るし、床面には割り箸5万膳を敷き詰めたインスタレーション





展示詳細

各絵画部分：和紙（白峰）、水彩、カップヌードルのバーコードを印刷した透明テープ、掛け軸用八双・軸棒、30×550（cm）、70×550（cm）、100×550（cm）、割り箸部分：約5万膳、アクリル、木工用ニス、マグネットシート、スチールシート、カップヌードルの空殻、サイズ可変、音声部分：MP3プレーヤー、ヘッドホン







個展「牛丼の滝」 沢田マンションギャラリーroom38/高知







牛丼の滝 #115-05 installation ver1.0
2014年 パネルにモンバル紙、水彩、プロジェクター、DVDプレーヤー、アンプ、スピーカー2台 162×336cm

牛丼の滝の絵画作品を2点と、牛丼の滝の絵画に、プロジェクターを用いて牛丼を食べている映像を投影したインスタレーション作品を展示。











WORKS IN SERIES

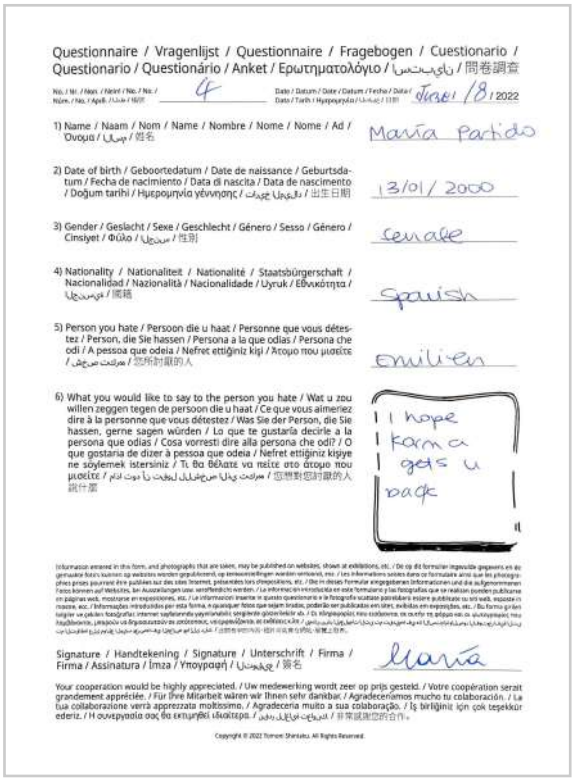


Eat Hate(Go Away This is no good in you/どっか行け！お前には良いとこなんて一切ない)
2023年 キャンバス、アクリル 30×30cm

Eat Hateシリーズのコンセプト

2022年2月24日、ロシアのウクライナ侵攻が始まった。21世紀にはもはや侵略戦争など起こり得ないと信じられていた中での事案であり、一斉に世界中がロシアを非難すると同時に、全世界がウクライナの支援に動いた。
しかしそれから数ヶ月経ちいくらか冷静になってみると、この正義か悪かのような二項対立の滑稽さに気がつく。なぜなら世界はそこまで単純ではないからだ。友人や恋人、家族といったミクロの関係性で起こる問題でさえ、そう簡単に白黒はっきりつくものではない。
今は何もわからない。いつも人はずいぶんと後になってから、初めてそれが何でありどんな意味があったのかを知る。それでもひとつ確かなことがある。それが単なるケンカでさえ、世界にある憎悪の総量は必ず増加する。街で見かける小競り合い、兄弟喧嘩や痴話喧嘩、階級闘争にレイシズム、そして戦争。問題の大小に関わらず、そこで生じる人間の憎悪は本質的に同じである。
本シリーズは、この世界にあふれる憎悪を減ずる試みである。一般の人々に、食パンにチョコシロップで憎悪する対象へのメッセージを書き出してもらう。そしてその食パンを作家自身が目の前で食べてみせる。人々が吐き出した憎悪を物理的に消すことによって、心理学的なカタルシスを起こす。多くの科学的研究で明らかになっていることだが、ストレスを紙に書き出し丸めて捨てるだけでも、実際にネガティブな感情が減ずるのである。それは小さな、しかし地道で確実な、抽象的な祈りなんかよりもよほど具体的な平和活動になり得るのではないだろうか





Questionnaire / Vragenlijst / Questionnaire / Fragebogen / Cuestionario / Questionario / Questionário / Anket / Ερωτηματολόγιο / استبيان / 問卷調查

No. / Nr. / Nom. / Νούμ. / No. / Núm. / No. / Αριθ. / Номер / 编号: 4

Date / Datum / Date / Datum / Fecha / Data / Data / Tarih / Ημερομηνία / تاريخ / 日期: June 1 / 8 / 2022

1) Name / Naam / Nom / Name / Nombre / Nome / Nome / Ad / Όνομα / اسم / 姓名: Maria Partido

2) Date of birth / Geboortedatum / Date de naissance / Geburtsdatum / Fecha de nacimiento / Data di nascita / Data de nascimento / Doğum tarihi / Ημερομηνία γέννησης / تاريخ الميلاد / 出生日期: 13/01/2000

3) Gender / Geslacht / Sexe / Geschlecht / Género / Sesso / Género / Cinsiyet / Φύλο / الجنس / 性别: female

4) Nationality / Nationaliteit / Nationalité / Staatsburgerschaft / Nacionalidad / Nazionalità / Nacionalidade / Uyruk / Εθνικότητα / الجنسية / 國籍: Spanish

5) Person you hate / Persoon die u haat / Personne que vous détestez / Person, die Sie hassen / Persona a la que odias / Persona che odi / A pessoa que odeia / Nefret ettiğiniz kişi / Άτομο που μισείτε / مبغوض / 您所討厭的人: Emilien

6) What you would like to say to the person you hate / Wat u zou willen zeggen tegen de persoon die u haat / Ce que vous aimeriez dire à la personne que vous détestez / Was Sie der Person, die Sie hassen, gerne sagen würden / Lo que te gustaría decirle a la persona que odias / Cosa vorresti dire alla persona che odi? / O que gostaria de dizer à pessoa que odeia / Nefret ettiğiniz kişiye ne söylemek istersiniz / Τι θα θέλατε να πείτε στο άτομο που μισείτε / مبغوض / 您想對您討厭的人說什麼: I hope karma gets u back

Information entered in this form, and photographs that are taken, may be published on websites, shown at exhibitions, etc. / De op dit formulier ingevulde gegevens en de gemaakte foto's kunnen op websites worden gepubliceerd, op tentoonstellingen worden vertoond, enz. / Les informations saisies dans ce formulaire ainsi que les photographies prises pourront être publiées sur des sites Internet, présentées lors d'expositions, etc. / Die in dieses Formular eingegebenen Informationen und die aufgenommenen Fotos können auf Websites, bei Ausstellungen usw. veröffentlicht werden. / La información introducida en este formulario y las fotografías que se realicen podrán publicarse en páginas web, mostrarse en exposiciones, etc. / Le informazioni inserite in questo questionario e le fotografie scattate potrebbero essere pubblicate su siti web, esposte in mostre, ecc. / Informações introduzidas por esta forma, e quaisquer fotos que sejam tiradas, poderão ser publicadas em sites, exibidas em exposições, etc. / Bu formu girilen bilgiler ve çekilen fotoğraflar internet sayfalarında yayımlanabilir, sergilerde gösterilebilir vb. / Οι πληροφορίες που εισάγονται σε αυτήν τη φόρμα και οι φωτογραφίες που λαμβάνονται ενδέχεται να δημοσιευτούν σε ιστότοπους, να εμφανιστούν σε εκθέσεις κ.λπ. / اقد يتم نشر المعلومات المدخلة في هذا النموذج والصور التي يتم التقاطها على مواقع الويب، وعرضها في المعارض، وما إلى ذلك. / 在此表格中输入的信息和拍摄的照片可能会在网站上发布、在展览中展示等。

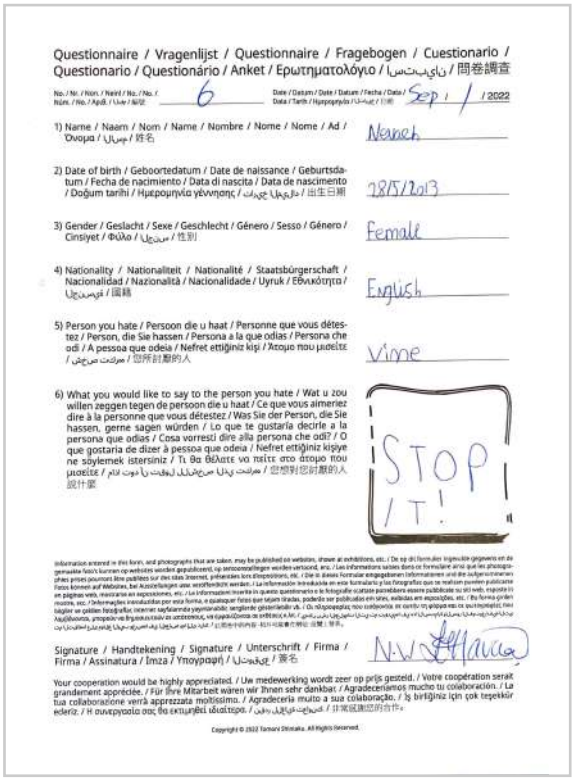
Signature / Handtekening / Signature / Unterschrift / Firma / Firma / Assinatura / İmza / Υπογραφή / توقيع / 簽名: Maria

Your cooperation would be highly appreciated. / Uw medewerking wordt zeer op prijs gesteld. / Votre coopération serait grandement appréciée. / Für Ihre Mitarbeit wären wir Ihnen sehr dankbar. / Agradeceríamos mucho tu colaboración. / La tua collaborazione verrà apprezzata moltissimo. / Agradeceria muito a sua colaboração. / İş birliğiniz için çok teşekkür ederiz. / Η συνεργασία σας θα εκτιμηθεί ιδιαίτερα. / سنكون ممتنين جدًا لتعاونك. / 非常感謝您的合作。

Copyright © 2022 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.

Eat Hate(I hope karma gets you back/あなたに不幸がありますように)
2022年 キャンバス、アクリル 30×30cm





Questionnaire / Vragenlijst / Questionnaire / Fragebogen / Cuestionario / Questionario / Questionário / Anket / Ερωτηματολόγιο / استبيان / 問卷調查

No. / Nr. / Nom. / Νούμ. / No. / Núm. / No. / Αριθ. / Номер / 编号: 6

Date / Datum / Date / Datum / Fecha / Data / Data / Tarih / Ημερομηνία / تاريخ / 日期: Sep 1 / 2022

1) Name / Naam / Nom / Name / Nombre / Nome / Nome / Ad / Όνομα / اسم / 姓名: Nenet

2) Date of birth / Geboortedatum / Date de naissance / Geburtsdatum / Fecha de nacimiento / Data di nascita / Data de nascimento / Doğum tarihi / Ημερομηνία γέννησης / تاريخ الميلاد / 出生日期: 28/5/2013

3) Gender / Geslacht / Sexe / Geschlecht / Género / Sesso / Género / Cinsiyet / Φύλο / الجنس / 性别: Female

4) Nationality / Nationaliteit / Nationalité / Staatsburgerschaft / Nacionalidad / Nazionalità / Nacionalidade / Uyruk / Εθνικότητα / الجنسية / 國籍: English

5) Person you hate / Persoon die u haat / Personne que vous détestez / Person, die Sie hassen / Persona a la que odias / Persona che odi / A pessoa que odeia / Nefret ettiğiniz kişi / Άτομο που μισείτε / مبغوض / 您所討厭的人: Vine

6) What you would like to say to the person you hate / Wat u zou willen zeggen tegen de persoon die u haat / Ce que vous aimeriez dire à la personne que vous détestez / Was Sie der Person, die Sie hassen, gerne sagen würden / Lo que te gustaría decirle a la persona que odias / Cosa vorresti dire alla persona che odi? / O que gostaria de dizer à pessoa que odeia / Nefret ettiğiniz kişiye ne söylemek istersiniz / Τι θα θέλατε να πείτε στο άτομο που μισείτε / مبغوض / 您想對您討厭的人說什麼: STOP IT!

Information entered in this form, and photographs that are taken, may be published on websites, shown at exhibitions, etc. / De op dit formulier ingevulde gegevens en de gemaakte foto's kunnen op websites worden gepubliceerd, op tentoonstellingen worden vertoond, enz. / Les informations saisies dans ce formulaire ainsi que les photographies prises pourront être publiées sur des sites Internet, présentées lors d'expositions, etc. / Die in dieses Formular eingegebenen Informationen und die aufgenommenen Fotos können auf Websites, bei Ausstellungen usw. veröffentlicht werden. / La información introducida en este formulario y las fotografías que se realicen podrán publicarse en páginas web, mostrarse en exposiciones, etc. / Le informazioni inserite in questo questionario e le fotografie scattate potrebbero essere pubblicate su siti web, esposte in mostre, ecc. / Informações introduzidas por esta forma, e quaisquer fotos que sejam tiradas, poderão ser publicadas em sites, exibidas em exposições, etc. / Bu formu girilen bilgiler ve çekilen fotoğraflar internet sayfalarında yayımlanabilir, sergilerde gösterilebilir vb. / Οι πληροφορίες που εισάγονται σε αυτήν τη φόρμα και οι φωτογραφίες που λαμβάνονται ενδέχεται να δημοσιευτούν σε ιστότοπους, να εμφανιστούν σε εκθέσεις κ.λπ. / اقد يتم نشر المعلومات المدخلة في هذا النموذج والصور التي يتم التقاطها على مواقع الويب، وعرضها في المعارض، وما إلى ذلك. / 在此表格中输入的信息和拍摄的照片可能会在网站上发布、在展览中展示等。

Signature / Handtekening / Signature / Unterschrift / Firma / Firma / Assinatura / İmza / Υπογραφή / توقيع / 簽名: N.V

Your cooperation would be highly appreciated. / Uw medewerking wordt zeer op prijs gesteld. / Votre coopération serait grandement appréciée. / Für Ihre Mitarbeit wären wir Ihnen sehr dankbar. / Agradeceríamos mucho tu colaboración. / La tua collaborazione verrà apprezzata moltissimo. / Agradeceria muito a sua colaboração. / İş birliğiniz için çok teşekkür ederiz. / Η συνεργασία σας θα εκτιμηθεί ιδιαίτερα. / سنكون ممتنين جدًا لتعاونك. / 非常感謝您的合作。

Copyright © 2022 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.

Eat Hate(Stop It!/やめろ!)
2023年 キャンバス、アクリル 30×30cm

Eat Hateシリーズの制作風景





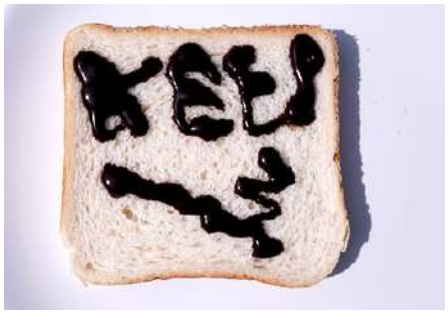


ロンドン、NY、アムステルダムなどの街頭で「I will eat your hatred (あなたの憎悪を食べます)」というボードを持って立ち、一般の参加者を募って制作。

















Explanation / Uitleg / Explication / Erklärung / Explicación / Spiegazione / Explicação / Açıklama / Εξήγηση / تـفـسـيـر / 說明

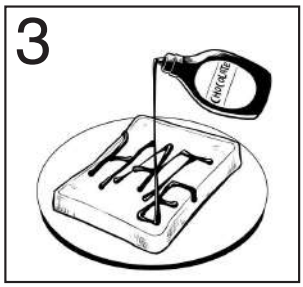
Would you collaborate in producing my art work? It's an easy thing and will take 5 minutes. / Zou u willen meewerken aan het maken van mijn kunstwerk? Het is makkelijk en kost slechts 5 minuutjes. / Souhaitez-vous collaborer à la production de mon travail d'art? C'est facile et cela ne prendra que 5 minutes. / Würden Sie bei der Produktion meines Kunstwerks mitarbeiten? Das ist ganz einfach und dauert nur 5 Minuten. / ¿Colaborarías en la elaboración de mi obra de arte? Es sencillo y tardarás 5 minutos. / Vorresti partecipare alla realizzazione di una mia opera d'arte? È facile e ci vorranno 5 minuti. / Colaboraria na produção da minha obra de arte? É fácil, apenas requer 5 minutos. / Sanat eserimi oluşturmama yardımcı olur musunuz? Kolaydır ve 5 dakika sürecektir. / Θα συνεργαζόσασταν για την παραγωγή του καλλιτεχνικού μου έργου; Είναι εύκολο και θα πάρει 5 λεπτά. / هل تـتـعاون مـعـي فـي إنـتـاج عـمـلـي الـفـنـي؟ إنـه أمـر سـهـل ويـسـتـغـرق 5 دقـائـق. / 請問是否能協助完成我的藝術創作？內容相當容易，且只需 5 分鐘 。



Think of someone that you hate / Denk aan iemand die u haat / Pensez à quelqu'un que vous détestez / Denken Sie an jemanden, den Sie hassen / Piensa en alguien a quien odies / Pensa a qualcuno che odi / Pense em alguém que odeia / Nefret ettiğiniz birini düşünün / Σκεφτείτε κάποιον που μισείτε / فـكـر بـشـخـص تـكـرهـه / 請想一個您討厭的人



Fill in the questionnaire / Vul de vragenlijst in / Remplissez le questionnaire / Füllen Sie den Fragebogen aus / Rellena el cuestionario / Compila il questionario / Preencha o questionário / Anketi doldurun / Συμπληρώστε το ερωτηματολόγιο / أكـمـل الاسـتـبـيـان / 完成問卷



Write your message on the bread with chocolate syrup / Schrijf uw boodschap op het brood met chocoladesiroop / Écrivez votre message sur le pain avec du sirop de chocolat / Schreiben Sie Ihre Botschaft mit Schokoladensirup auf das Brot / Escribe tu mensaje en el pan con sirope de chocolate / Scrivi il tuo messaggio sul pane con uno sciroppo al cioccolato / Escreva a sua mensagem no pão com xarope de chocolate / Mesajınızı, çikolata sosu ile ekmeğin üzerine yazın / Γράψτε το μήνυμά σας στο ψωμί με σιρόπι σοκολάτας / اكـتـب رسـالـتـك عـلـى الـخـبـز بـشـراب الـشـوكـولاتـة / 請把答案用巧克力醬寫在吐司上



I will eat that bread / Ik zal dat brood dan opeten / Je vais manger ce pain / Ich werde dieses Brot essen / Me comeré ese pan / Mangerò quel pane / Eu vou comer esse pão / Ο εκμεζή yiyeceğim / Θα το φάω αυτό το ψωμί / سـأكـل ذلـك الـخـبـز / 我將會吞掉土司吃掉

Illustration by Yoshika Aki
Copyright © 2022 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.

Eat Hateの概要説明書

参加者の方への質問用紙

Questionnaire / Vragenlijst / Questionnaire / Fragebogen / Cuestionario / Questionario / Questionário / Anket / Ερωτηματολόγιο / اسـتـبـيـان / 問卷調查

No. / Nr. / Non. / Nein! / No. / No. / Núm. / No. / Αριθ. / الـعـدد / 編號 _____ Date / Datum / Date / Datum / Fecha / Data / Data / Tarih / Ημερομηνία / الـتـاريـخ / 日期 ____ / ____ / 2022

1) Name / Naam / Nom / Name / Nombre / Nome / Nome / Ad / Όνομα / الاسـم / 姓名 _____

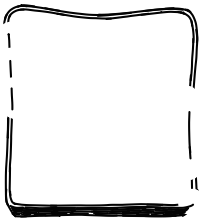
2) Date of birth / Geboortedatum / Date de naissance / Geburtsdatum / Fecha de nacimiento / Data di nascita / Data de nascimento / Doğum tarihi / Ημερομηνία γέννησης / تـاريـخ الـمـيـلاد / 出生日期 _____

3) Gender / Geslacht / Sexe / Geschlecht / Género / Sesso / Género / Cinsiyet / Φύλο / الـجـنـس / 性別 _____

4) Nationality / Nationaliteit / Nationalité / Staatsbürgerschaft / Nacionalidad / Nazionalità / Nacionalidade / Uyruk / Εθνικότητα / الـجـنـسـيـة / 國籍 _____

5) Person you hate / Persoon die u haat / Personne que vous détestez / Person, die Sie hassen / Persona a la que odias / Persona che odi / A pessoa que odeia / Nefret ettiğiniz kişi / Άτομο που μισείτε / شـخـص تـكـرهـه / 您所討厭的人 _____

6) What you would like to say to the person you hate / Wat u zou willen zeggen tegen de persoon die u haat / Ce que vous aimeriez dire à la personne que vous détestez / Was Sie der Person, die Sie hassen, gerne sagen würden / Lo que te gustaría decirle a la persona que odias / Cosa vorresti dire alla persona che odi? / O que gostaria de dizer à pessoa que odeia / Nefret ettiğiniz kişiye ne söylemek istersiniz / Τι θα θέλατε να πείτε στο άτομο που μισείτε / مـا الـذي تـريـد قـولـه لـلـشـخـص الـذي تـكـرهـه / 您想對您討厭的人說什麼



Information entered in this form, and photographs that are taken, may be published on websites, shown at exhibitions, etc. / De op dit formulier ingevulde gegevens en de gemaakte foto's kunnen op websites worden gepubliceerd, op tentoonstellingen worden vertoond, enz. / Les informations saisies dans ce formulaire ainsi que les photographies prises pourront être publiées sur des sites Internet, présentées lors d'expositions, etc. / Die in dieses Formular eingegebenen Informationen und die aufgenommenen Fotos können auf Websites, bei Ausstellungen usw. veröffentlicht werden. / La información introducida en este formulario y las fotografías que se realizan pueden publicarse en páginas web, mostrarse en exposiciones, etc. / Le informazioni inserite in questo questionario e le fotografie scattate potrebbero essere pubblicate su siti web, esposte in mostre, ecc. / Informações introduzidas por esta forma, e quaisquer fotos que sejam tiradas, poderão ser publicadas em sites, exibidas em exposições, etc. / Bu forma girilen bilgiler ve çekilen fotoğraflar, internet sayfalarında yayınlanabilir, sergilerde gösterilebilir vb. / Οι πληροφορίες που εισάγονται σε αυτήν τη φόρμα και οι φωτογραφίες που λαμβάνονται, μπορούν να δημοσιευτούν σε ιστότοπους, να εμφανίζονται σε εκθέσεις κ.λπ. / يمـكـن نـشـر الـمـعـلـومـات الـتـي تـم تـدويـنـهـا فـي هـذا الـنـمـوذج والـصـور الـتـي تـم الـتـقـاطـهـا عـلـى مـواقـع الـويـب وعـرضـهـا فـي الـمـعـارض عـلـى ذلـك. / 此問卷中的內容·相片可能會在網站·展覽上發表。

Signature / Handtekening / Signature / Unterschrift / Firma / Firma / Assinatura / İmza / Υπογραφή / الـتـوقـيـع / 簽名 _____

Your cooperation would be highly appreciated. / Uw medewerking wordt zeer op prijs gesteld. / Votre coopération serait grandement appréciée. / Für Ihre Mitarbeit wären wir Ihnen sehr dankbar. / Agradeceríamos mucho tu colaboración. / La tua collaborazione verrà apprezzata moltissimo. / Agradeceria muito a sua colaboração. / İş birliğiniz için çok teşekkür ederiz. / Η συνεργασία σας θα εκτιμηθεί ιδιαίτερα. / نـقـدر لـلـغـايـة تـعـاونـكـم. / 非常感謝您的合作。

Copyright © 2022 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.



ONE BITE CHALLENGE(ラリー/63歳/男性/2019年5月21日)
2019年 キャンバス、アクリル 30×30cm

ONE BITE CHALLENGEシリーズのコンセプト

全米のホームレス数は55万4000人(米住宅都市開発省2017年1月発表)で、うち路上生活者は19万3000人と2年前から9%増加した。私はアメリカに移り住み、その現実を思い知った。信号待ちの車に、「HELP」というボードを持ったホームレスが一台一台物乞いして歩く姿は、誇張なくアメリカの日常風景である。そして犬猫のようにあしらわれる彼らの姿は世界の縮図にも見える。
かつてアンディ・ウォーホルは言った。「アメリカの何がすばらしいっていえば、一番の金持と一番の貧乏人が同じものを消費するという伝統を始めたってことだ。テレビを見てごらん。たとえばコカ・コーラだ。あなたはテレビで大統領がコーラを飲むのを知る。リズ・テイラーがコーラを飲むのを知る。そして考えてごらん。あなたもコーラを飲めるのだ。コーラはコーラであり、街角の浮浪者が飲んでいるのより、あなたのコーラが高くつくなんてことはない。コーラは全部同じでどれもおいしい。リズ・テイラーもそれを知っているし、大統領も、浮浪者も、あなたも知っている。」――むろん1960年代という時流に乗った彼一流の皮肉だとしても、いま現代あらためてこの言葉を考えれば人間性の喪失と断じなければならない。なぜなら物質的には同じでも、高速道路の下に張られたテントと、ビバリーヒルズに建つ豪邸で味わうそれとは、まったく違うものになるからだ。それが人間というものだろう。
本シリーズは、一般社会から切り離された存在として生きざるを得ないホームレスの人々との壁を乗り越える試みである。ロサンゼルスの街角に佇むホームレスと、ひとつのハンバーガーを彼らと作家自身とで一口ずつ食べる。それは彼らと状況を共有することであるとともに、理解と受容とを示すことであり、綺麗事が許されるならば心を通わせることになるかもしれない。そのコミュニケーションの記録としてハンバーガーを描くことで、我々と彼らとの間にある壁の正体がいったい何であるのかを問いたい。





Questionnaire

No. 2

Date May 18 /2019

1) Name JIM PEDERSEN

2) Age 49

3) Gender M

4) What is your favorite color? Please circle the color in the following figure:

*Information entered in this form, and photographs that are taken, may be published on websites, shown at exhibitions, etc. Please sign with acknowledgment of this.

Signature James L Pedersen

Your cooperation would be highly appreciated.

ONE BITE CHALLENGE(ジム/49歳/男性/2019年5月18日) 2019年 キャンバス、アクリル 30×30cm





Questionnaire

No. 11

Date 5/21/2019

1) Name Larry Longmire

2) Age 63

3) Gender Male

4) What is your favorite color? Please circle the color in the following figure:

*Information entered in this form, and photographs that are taken, may be published on websites, shown at exhibitions, etc. Please sign with acknowledgment of this.

Signature Larry Longmire

Your cooperation would be highly appreciated.

ONE BITE CHALLENGE(ラリー/63歳/男性/2019年5月21日) 2019年 キャンバス、アクリル 30×30cm

ONE BITE CHALLENGEのための写真素材撮影風景







ロサンゼルスの街角に立つホームレスらに協力をお願いして撮影。

















Explanation

Would you collaborate in producing my art work?
I will pay $10 as a reward for your collaboration.
It's an easy thing and will take 5 minutes.



Please fill this questionnaire.



Please take a bite of this hamburger (and please let me take a picture as you're doing it).



I will take a bite after you do.
*I will take the hamburger with me.



Please let me take a picture of us with our arms around the other's shoulders.

Illustration by Arisa Yamamoto
Copyright © 2019 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.

ONE BITE CHALLENGEの概要説明書

ホームレスの方への質問用紙

Questionnaire

No. _____

Date ____/____/ 2019

1) Name _____

2) Age _____

3) Gender _____

4) What is your favorite color? Please circle the color in the following figure:

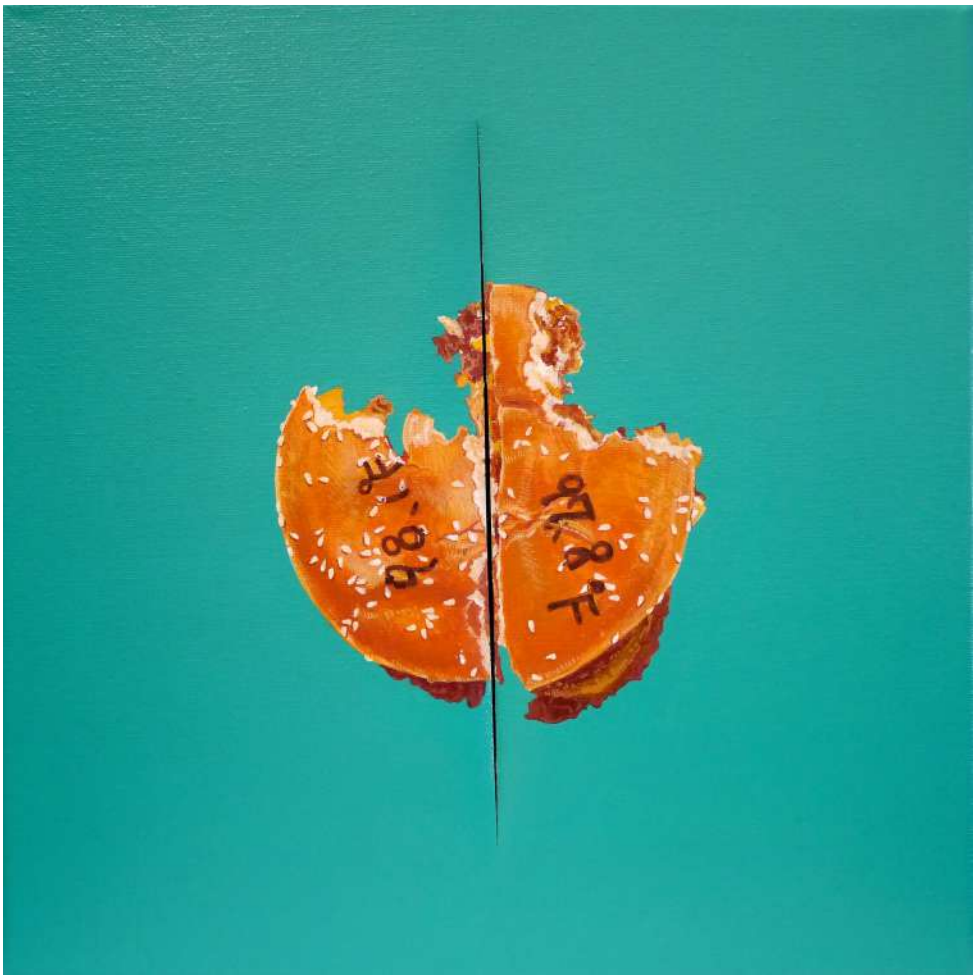


*Information entered in this form, and photographs that are taken, may be published on websites, shown at exhibitions, etc. Please sign with acknowledgment of this.

Signature _____

Your cooperation would be highly appreciated.

Copyright © 2019 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.



ONE BITE CHALLENGE AFTER CORONAVIRUS (COVID-19)(ジェイソン/49歳/男性/2020年4月18日)
2020年 キャンバス、アクリル 30×30cm

ONE BITE CHALLENGE AFTER CORONAVIRUS (COVID-19)シリーズのコンセプト

2019年末、中国の武漢市から始まった新型コロナウイルスは、2020年に入り世界中で感染が拡大し、ついにWHOがパンデミックを宣言するに至った。世界各国で外国人の入国が禁止され、米国では全世界でビザ発給の停止や、必要不可欠なビジネス以外の営業停止、スーパーや飲食店の営業縮小など、リーマンショックをゆうに凌ぐ影響が出ている。同年3月には、カリフォルニア州全土で外出自粛令が出され、状況はいよいよ混迷を極めている。
本シリーズは、コロナウイルス発生以降における拙作「ONE BITE CHALLENGE」の別バージョンにあたる。これは作家がロサンゼルスのホームレスと一つのハンバーガーを一口ずつかじり、彼らと困難な状況を共有する試みであったが、コロナウイルスの発生前後では、この行為は別の意味を持ってしまった。作家が彼らにアプローチすることは感染リスクをもたらす脅威となり得るし、逆もまたしかりである。
アメリカ疾病管理予防センター(CDC)は、互いに6フィート(1.8m)の距離を保つよう勧告している。しかし、そもそもホームレスに近づく人は稀だ。この状況ではなおさらだろう。政府に自宅待機を強いられても帰る家はない。クラスター感染が懸念される。ウイルスは貧富を問わない。皮肉にも、そのせいで彼らの存在を無視できなくなっている。
私はこれを一時的な状況だとは思わない。空前の災厄により、いびつな世界構造が炙り出されただけだ。例えば今回、善意としてホームレスに手指の消毒や、ゴム手袋、マスクの着用を求めているが、この行為は目に見えないウイルスよりも、目に見えて不衛生な彼らに対する忌避感の表れとして映ってしまう。一般社会と彼らとの絶対的な距離が、図らずも剥き出しになり、露呈したのだ。
私はこの状況を具現化してみせたい。前作と異なるのは、ハンバーガーを半分に切り分け、それを一口ずつ食べる点だ。これは未知の感染症により分断された人間関係を象徴すると同時に、互いの感染リスクを下げるための人道的な配慮でもある。次に、その二つに分かれたハンバーガーを、絵画上で切断面を合わせ、イメージとして修復する。終息に向け一致団結を求める為政者や専門家の虚しい呼びかけ、そのメタファーである。最後に完成した作品に切り込みを入れ、物理的に再び分断する。どう取り繕っても、完全に引き裂かれているのが現実だ。目に見えない脅威に疑心暗鬼が広がっている。買い占めや暴力沙汰も起き、不穏なことに銃が売れている。この恐ろしく不透明な状況が我々に何をもたらすのかは知らないが、これだけは言える。我々はもう、コロナウイルス以前に戻ることはできない。

2020.5.7追記: 作家とホームレスの体温を計測し、各々のハンバーガーに記入する。我々は今、何者であるかよりも、保菌者か否かという匿名的存在として扱われていると考えるからである。





Questionnaire

No. 3

Date March 21 / 2020

1) Name Denette Shereen Snyder

2) Age 46

3) Gender female

4) What is your favorite color? Please circle the color in the following figure:

*Information entered in this form, and photographs that are taken, may be published on websites, shown at exhibitions, etc.
*In this case there is a risk of contracting coronavirus (Covid-19). However, the artist cannot take any responsibility. Please sign in advance to confirm your acknowledgment of this.

Signature Denette Snyder

Your cooperation would be highly appreciated.

Copyright © 2020 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.

ONE BITE CHALLENGE AFTER CORONAVIRUS (COVID-19)(デネット/46歳/女性/2020年3月21日)
2020年 キャンバス、アクリル、ベルベット 30×30cm





Questionnaire

No. 19

Date April 18 / 2020

Body Temperature: You 96.1 °F | 35.6 °F

1) Name NORINA CALICA

2) Age 74 yrs. old

3) Gender Female

4) What is your favorite color? Please circle the color in the following figure:

Violet

*Information entered in this form, and photographs that are taken, may be published on websites, shown at exhibitions, etc.
*In this case there is a risk of contracting coronavirus (Covid-19). However, the artist cannot take any responsibility. Please sign in advance to confirm your acknowledgment of this.

Signature Norina Calica

Your cooperation would be highly appreciated.

Copyright © 2020 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.

ONE BITE CHALLENGE AFTER CORONAVIRUS (COVID-19)(ノリナ/74歳/女性/2020年4月18日)
2020年 キャンバス、アクリル、ベルベット 30×30cm

ONE BITE CHALLENGEのための写真素材撮影風景







2020年、コロナ禍の中、ロサンゼルスの街頭でホームレスらに協力をお願いして撮影。以前と変わらぬ態度のホームレスも少なくなかったが、一部のホームレスは対人に過敏になっており、協力を断られることが増えた。

















Explanation

Would you collaborate in producing my art work? I will pay $5 as a reward for your collaboration. It's an easy thing and will take 5 minutes.

First of all, please sanitize your hands, put on plastic gloves, and wear a mask. This is to prevent the spread of coronavirus (COVID-19).



Please fill this questionnaire.



Please pick up a half of the hamburger and take a bite of it.



I will do the same with the other half.



Please let me take a photo of us while elbow bumping.

Illustration by Arisa Yamamoto
Copyright © 2020 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.

ONE BITE CHALLENGEの概要説明書

ホームレスの方への質問用紙

Questionnaire

No. _____

Date ____ / ____ / 2020

1) Name _____

2) Age _____

3) Gender _____

4) What is your favorite color? Please circle the color in the following figure:



*Information entered in this form, and photographs that are taken, may be published on websites, shown at exhibitions, etc.
*In this case there is a risk of contracting coronavirus (Covid-19). However, the artist cannot take any responsibility. Please sign in advance to confirm your acknowledgment of this.

Signature _____

Your cooperation would be highly appreciated.

Copyright © 2020 Tomoni Shintaku. All Rights Reserved.



BENTO-January 19,2016（熱量714kcal、蛋白質24.4g、脂質33.5g、炭水化物74.2g、Na0.9g / 原材料名：御飯（国産）、こんにゃく炒め煮、卵焼き、焼鮭、キャベツ豚肉炒め、梅干、胡麻、唐辛子、合成清酒、しょうゆ、食塩、砂糖）
2016年 パネルにキャンバス、アクリル 33×45cm
個人蔵

BENTOシリーズのコンセプト

日本の伝統的なBENTO（弁当）は、完成された食形態のひとつであり、近年、世界的な流行をみている。その理由はビジュアルや様式美ばかりではない。小さな箱の中に、必要十分な食物が工夫をこらして無駄なく収められている弁当には、『持たない暮らし（ミニマリスト）』のような現代思想との高い親和性が見い出せるのである。
本シリーズは、弁当にあるミニマリズムを突き詰めて実践しようとする試みである。作家自らが料理し、弁当を作って食べる。その一連の流れのトレース及び圧縮として、絵画作品を描き起こす。そうすることにより、単なる弁当の概念を超えて、ひとつの”ミニマルな生き方”をも提示できるのではないだろうか。



BENTO-May 29,2016（熱量654kcal、蛋白質18.3g、脂質36.2g、炭水化物64.1g、塩分3.3g / 原材料名：パン、ポテトサラダ、卵、トマト、こんにゃくゼリー、苺、レタス、マヨネーズ、マスタード、バター、カレー粉、食塩、砂糖）
2016年 キャンバスにアクリル 33×45cm
個人蔵



BENTO-April 3,2016（熱量750kcal、蛋白質40.8g、脂質27.5g、炭水化物79.1g、塩分2.7g / 原材料名：御飯（国産）、豚肉、シュウマイ、だし巻卵、塩鮭、ほうれん草、ウィンナー、竹輪、むき海老、きゅうり、コーン、ふりかけ（かつお）、合成清酒、しょうゆ、食塩、砂糖）
2016年 キャンバスにアクリル 33×45cm
個人蔵



BENTO-May 2,2016（熱量971kcal、蛋白質39g、脂質38.9g、炭水化物108.3g、塩分5.8g / 原材料名：御飯（国産）、マカロニサラダ、豚肉巻き（ニンニクの芽、えのき）、サバ塩焼、ポテトコロッケ、海苔、ふりかけ（菜めし）、しょうゆ、食塩、砂糖）
2016年 キャンバスにアクリル 33×45cm



BENTO-May 29,2016（熱量813kcal、蛋白質28.3g、脂質28.6g、炭水化物105.3g、塩分5.9g／原材料名：玄米入り御飯（国産）、ナポリタンスパゲッティ、ポテトサラダ、いり卵、肉そぼろ、ピーマン、かまぼこ、しば漬け、合成清酒、しょうゆ、食塩、砂糖）
2016年 キャンバスにアクリル 33×45cm



BENTO-November 25, 2017（熱量825kcal、蛋白質40.3g、脂質32.3g、炭水化物88.1g、塩分6.3g／原材料名：御飯、鳥手羽先煮込み、ゆで卵、トマト、ハム、イングリッシュキューカンバー、カニカマ、さやえんどう、梅干し、ベイクドビーンズ、レタス、醤油、みりん風調味料、サラダ油、黒ごま、食塩）
2017年 キャンバスにアクリル 35.5×45.5cm



BENTO-May 26, 2018（熱量529kcal、蛋白質10.7g、脂質17.6g、炭水化物78.6g、塩分2.9g／原材料名：炊き込み御飯、みかん、ウィンナー、こんにゃく、青梗菜、きゅうり、ミニトマト、スナップえんどう、にんじん、マヨゲーズ、サラダ油、みりん風調味料、しょうゆ、ごま）
2018年 キャンバスにアクリル 35.5×45.5cm



BENTO-May 27, 2018（熱量702kcal、蛋白質31.9g、脂質25.9g、炭水化物80.9g、塩分10.1g／原材料名：御飯、だし巻卵、塩鮭、なすとこんにゃく炒め、青梗菜、ミニトマト、梅干し、ハム、チーズ、マヨゲーズ、マスタード、サラダ油、みりん風調味料、砂糖、しょうゆ、ごま）
2018年 キャンバスにアクリル 35.5×45.5cm



BENTO-May 28, 2018（熱量1038kcal、蛋白質44.5g、脂質48g、炭水化物106.3g、塩分5.82g／原材料名：サンドイッチ(チーズ、ツナ)、ゆで卵、ウィンナー、みかん、きゅうり、にんじん、レーズン、ミニトマト、スナップえんどう、えのき、青梗菜、ハム）
2018年 キャンバスにアクリル 35.5×45.5cm

BENTOのための写真素材撮影風景





調理師免許を持つ作家自らが料理、盛り付けした弁当を撮影。











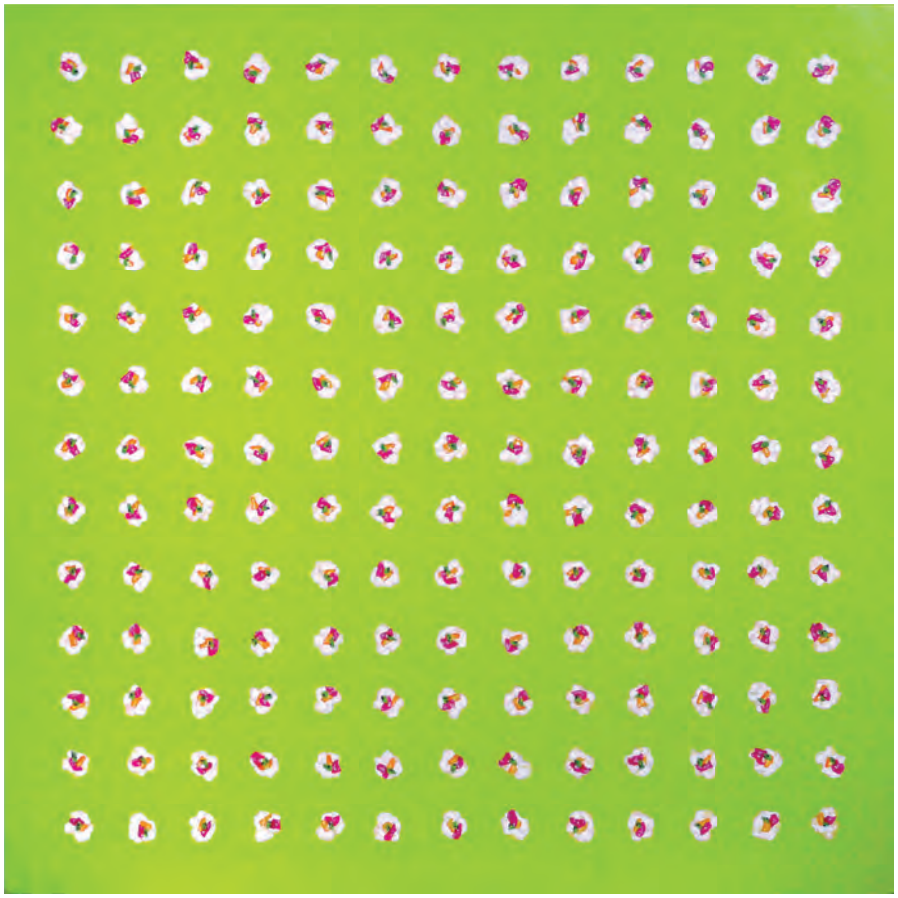




Let's eat everyone(In 37 people)
2017, acrylic on canvas, 30.5×30.5cm

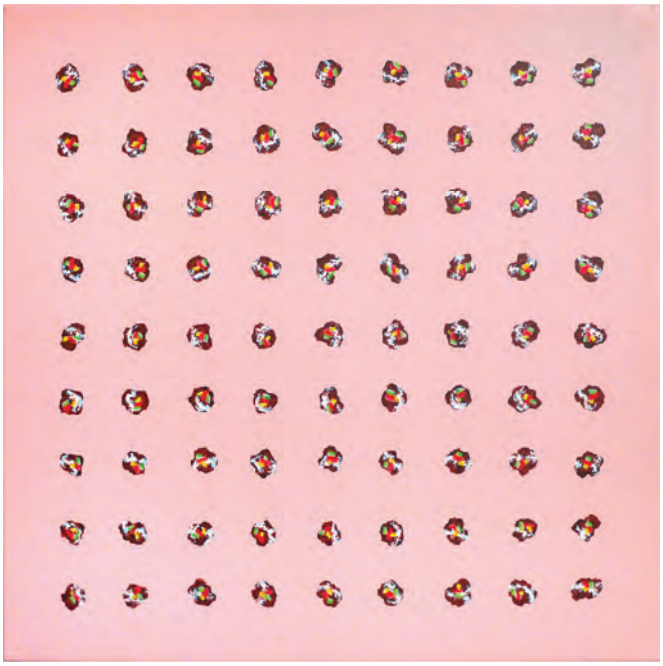
みんなで食べようシリーズのコンセプト

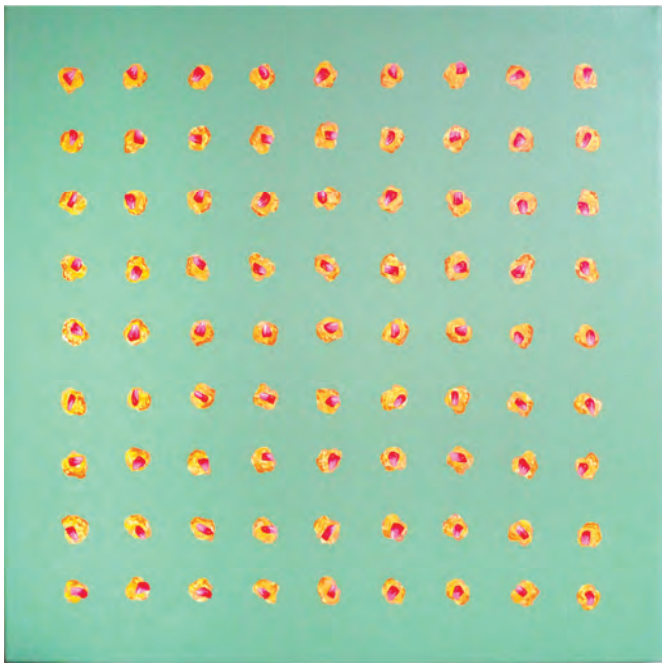
2011年、アメリカのニューヨークで"We are the 99%"をスローガンに、「ウォール街を占拠せよ」という抗議運動が発生した。これは、上位1%のスーパーリッチと呼ばれる富裕層が所有する資産が増加し続けている反面、残りの99%が取り残されていることに端を発している。2007年のデータでは、スーパーリッチがアメリカの全ての資産の34.6パーセントを握っているという。また、このような富の異常な偏在は世界中で加速しており、2016年にはスーパーリッチの1%だけで世界の富の半分以上を手にすることになるとも言われている。
そのような状況において、政治経済に貧富の差を緩和するための富の再分配機能の強化が求められるのは当然の流れではある。現在の世界は、あまりにも不公平で不完全なのかもしれない。しかし、そもそも"完全に平等な完璧な世界"などありえるのだろうか。
本シリーズは、現代社会における富の再分配の可能性を、ケーキを切り分けるという行為に象徴させて問う試みである。みんなでケーキを分け合って食べよう。2人で、4人で、あるいは100人、1,000人で。富は、どこまで平等に分け合うことができるのだろうか。





みんなで食べよう(197人で)
2018年 キャンバス、アクリル 60×60cm









みんなで食べよう(82人で:
ブルーフォレスト、26SGD/2146JPY、2018/6/6)
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×45.5cm

みんなで食べよう(82人で:
ライトチーズケーキ、20.8SGD/1717JPY、2018/6/7)
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×45.5cm

みんなで食べようのための写真素材撮影風景





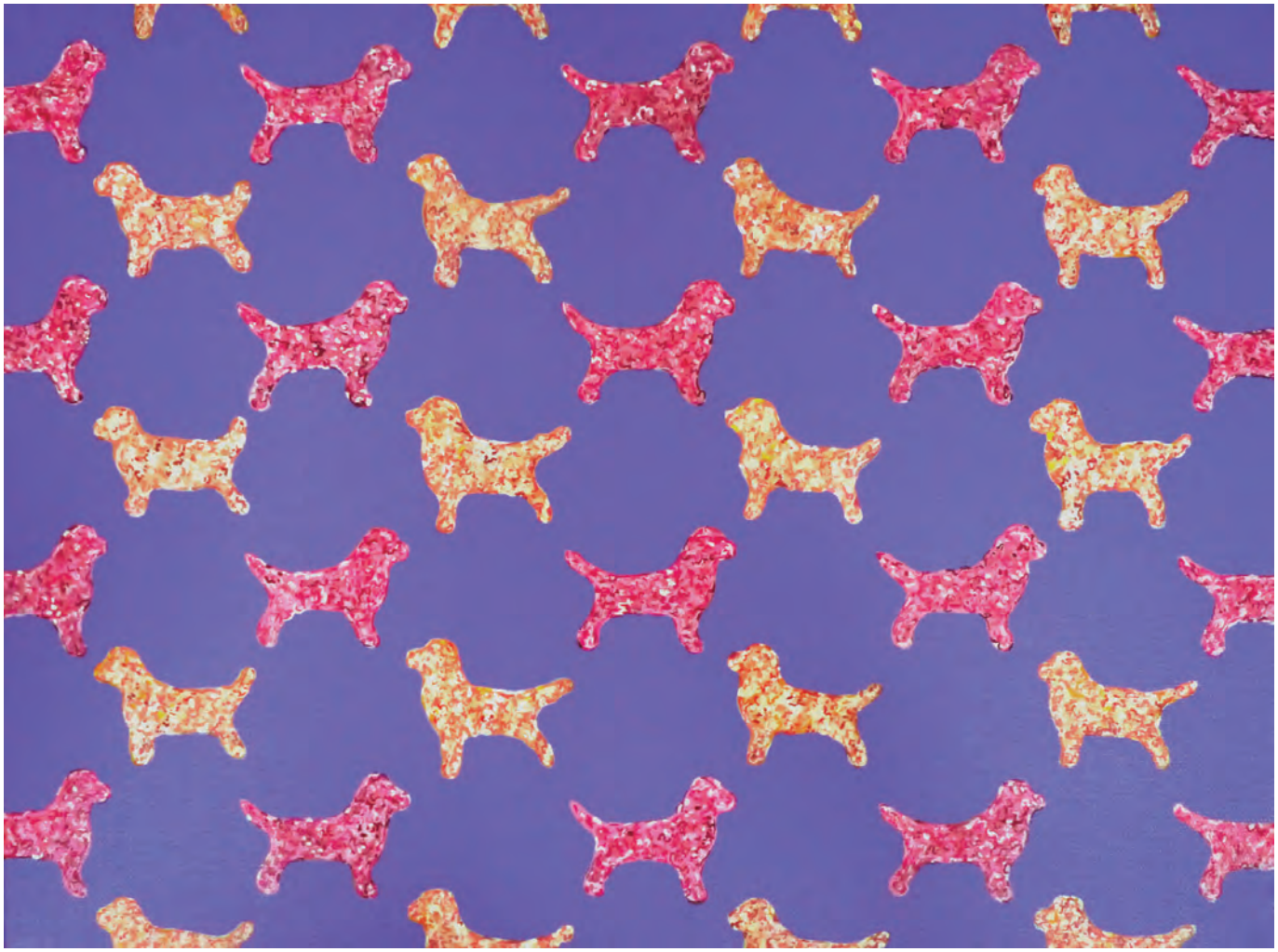
ショートケーキを極小に切り分け、盛り付けたものを撮影。







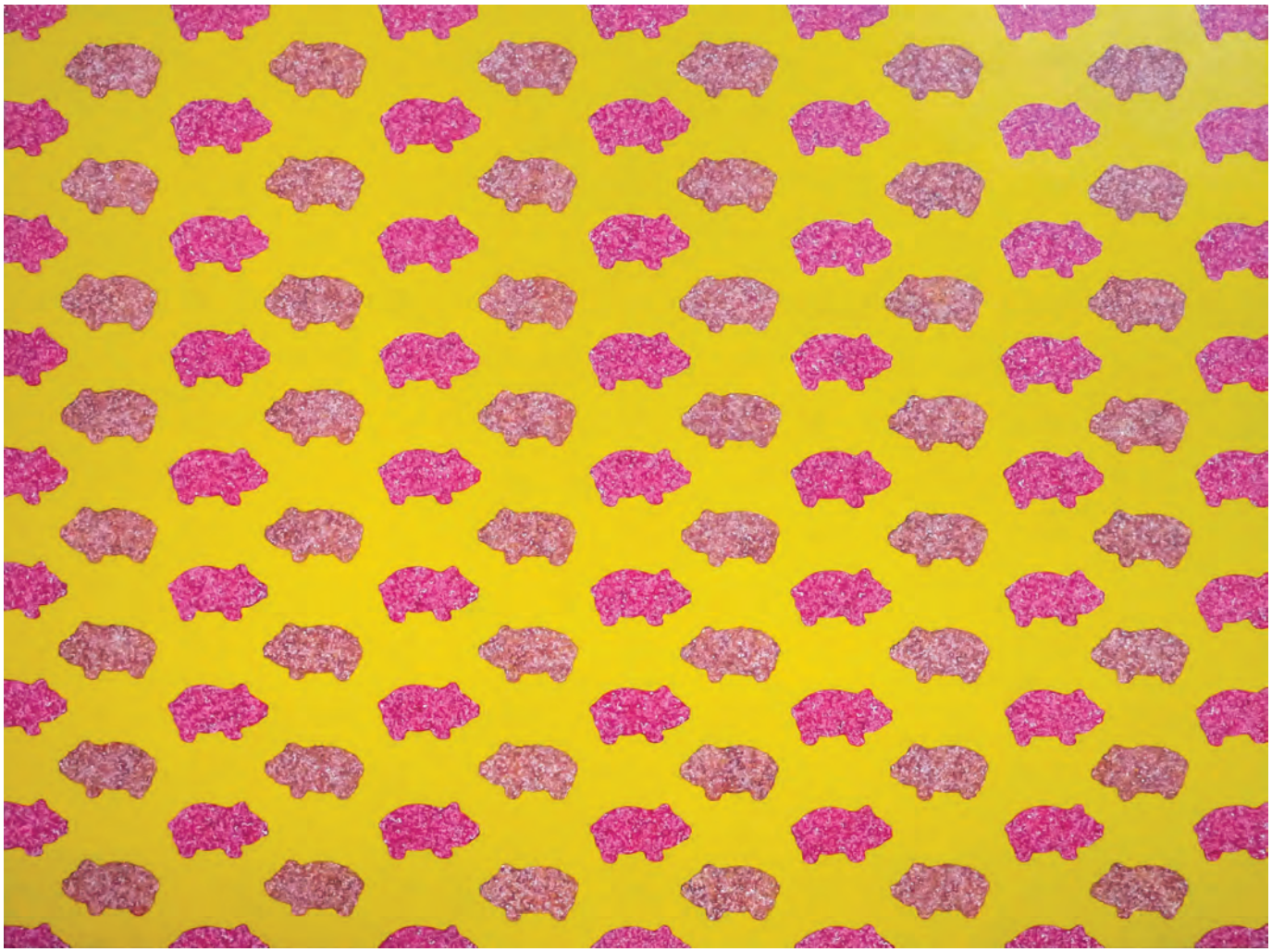


謎肉(イヌ:トレンドカラー2018/PANTONE 18-3838 ウルトラバイオレット)
2017年 キャンバス、アクリル 30.5×40.5cm
個人蔵

謎肉シリーズのコンセプト

人間は原始の時代からありとあらゆる動物を食べて生きてきた。トカゲからマンモスまで、生き延びるため、あるいは高度な人間的営為のために、高カロリーの肉食を必要としたのである。しかし近代になると、大衆の倫理的価値観の高まりや、動物愛護団体の活動に顕著に見られるように、クジラやイヌといった特定の動物の肉を食べることが野蛮だと批判される状況が生じてきた。現在もその傾向は強まりこそすれ、弱まる気配はない。
本シリーズは、現代における野蛮とは何かを問うものである。食肉がタブー視されている動物の形のクッキーの型枠を用い、ミンチ肉を型抜きする。そうすることで、特定の動物のイメージだけは明確な、しかし謎の肉となる。このような物体が提示された時、人は何を頼りに野蛮であると憤り、あるいは文明的であると安堵するのであろうか。



謎肉(ブタ:トレンドカラー2009/PANTONE 14-0848 ミモザ)
2018年 キャンバス、アクリル 76×102cm



謎肉(ウシ:トレンドカラー2014/
PANTONE 18-3224 ラディアント・オーキッド)
2018年 キャンバス、アクリル 30×30cm



謎肉(ネコ:トレンドカラー2016/PANTONE 13-1520 ローズ・クォーツ)
2018年 キャンバス、アクリル 35.5×45.5cm



謎肉(イルカ:トレンドカラー2013/PANTONE 17-5641 エメラルド)2017年
キャンバス、アクリル 35.5×45.5cm

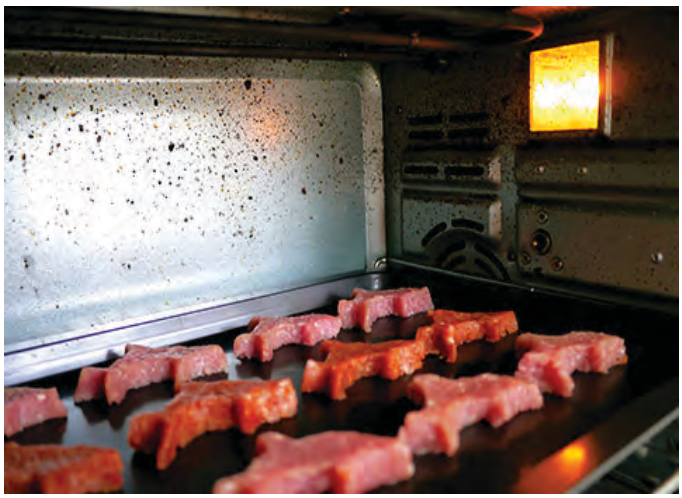
謎肉のための写真素材撮影風景







ミンチ肉をクジラやイヌなどの形のクッキーの型枠で抜いて撮影。



















（ブタさんのおカタの）いたいのいたいのとんでいけ
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×45.5cm

いたいのいたいのとんでいけシリーズのコンセプト

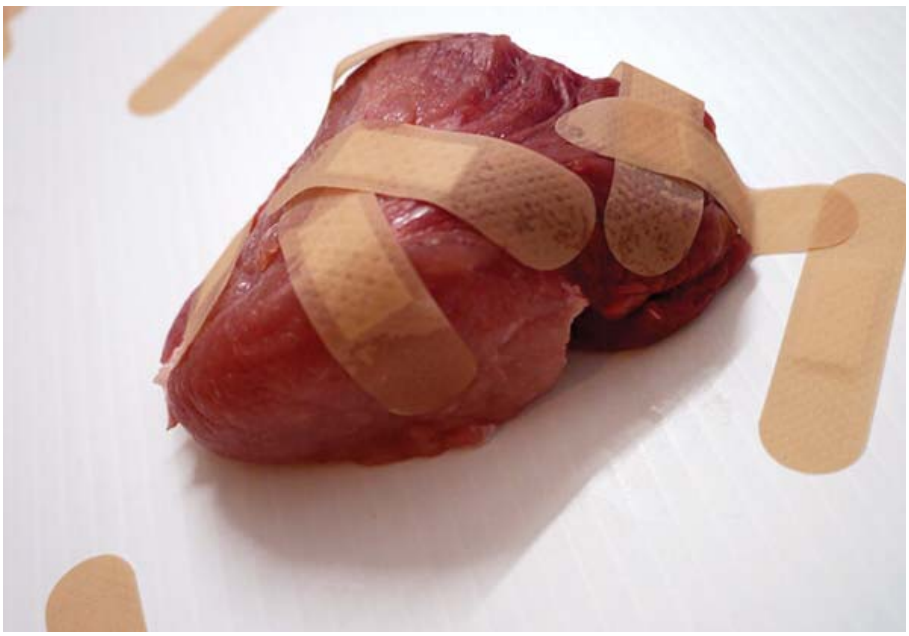
近年、動物の毛皮やレザー、動物実験などに反対する動きが世界中で広がっている。彼らの主張は、取り上げる動物や状況こそ違えど、「動物たちの苦しみを知り、そのために行動すべき」ということに集約される。その一方、人間は原始より続けてきた食肉をやめることができないでいる。今日も我々は大いに動物を殺し、盛大に食っている。むろん、私は菜食主義者であるから加担していないのだという人もあろう。しかし、この世界に生きる人間である以上、それこそ動物から見ればみな同罪だ。

本シリーズは、動物に対する人間の矛盾を明らかにする試みである。生肉を動物の傷口ととらえ、絆創膏で治療する。言うまでもなく死んでいるそれに痛みも何もないのだが、我々の叫ぶ動物愛護などというものは、「いたいのいたいのとんでいけ」というまじないと変わらないのではないか。そもそも動物たちの痛みとは、罪悪感という我々の胸の痛みの別名に過ぎないのではないだろうか。



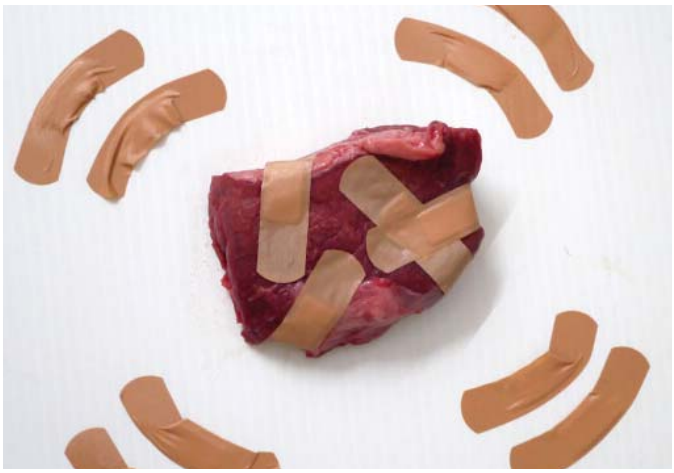
（ウシさんのおシリの）いたいのいたいのとんでいけ
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×45.5cm

いたいのいたいのとんでいけのための写真素材撮影風景





牛肉や豚肉など、生の肉に絆創膏を貼って撮影。

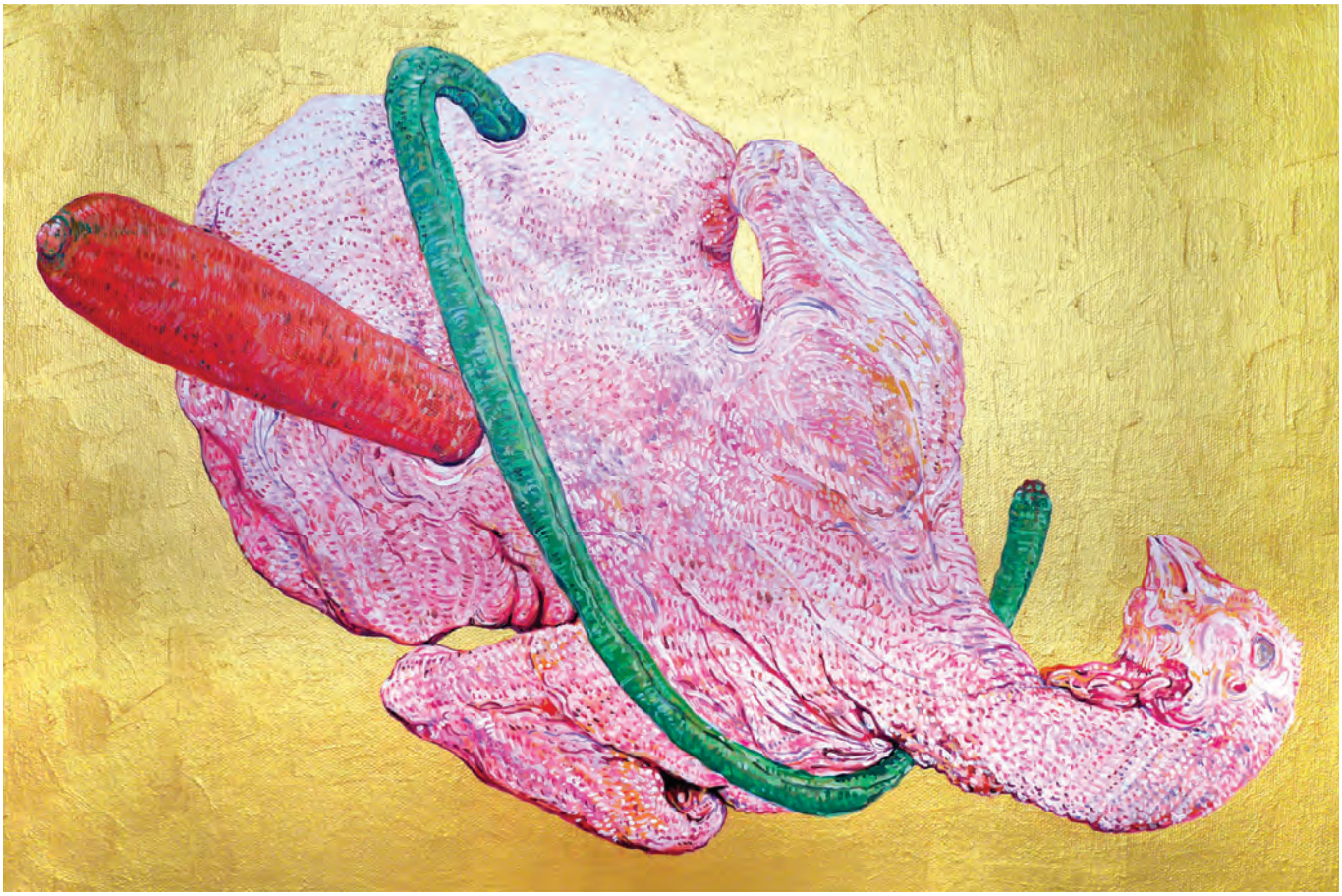










遺伝子組み換えでない(鶏×十六ささげ×人参)
2017年 キャンバス、アクリル 45.5×30.5cm

遺伝子組み換えでないシリーズのコンセプト

世界中でクローン技術に代表される遺伝子操作技術の開発が過熱している。遺伝子組み換え食品のことを考えれば、誰しもこのテクノロジーと無関係ではいられない。安全性の問題から「遺伝子組み換えでない」という表示を確認する人は少なくないが、それとて絶対的なものではない。原材料の割合や加工品においては表示義務のない場合も多く、家畜の餌においては確認のしようがない。つまり確実に遺伝子組み換え食品は流通し、その危険性をいくら認識し忌避しようとも口にせざるを得ない現実があるのである。

本シリーズは、そのような状況に対する反応としてある。世界最古の遺伝子組換え技術とも言える「接ぎ木」の手法を用い、様々な食品をかけ合わせ、いわゆるキメラを作り出す。しかし、素材には100%オーガニック食品を使用するため、その外見がどんなに奇怪なものであろうとも、決して「遺伝子組み替えでない」。

キメラとしてもっともよく知られているスフィンクスは、通りかかった人間になぞなぞを出し、答えられなかった者を食い殺したという。「朝は四本足、昼は二本足、夕は三本足。この生き物は何か？」ギリシャ神話にある有名なくだりである。私は本シリーズを、この種の単純で、しかし答えを知らなければあまりにも難解な謎かけとして呈示したい。たとえば、とうもろこしと魚をかけ合わせると何ができるか？ 人参と鶏では？ それはうまいか？　安全か？ 答えを知らない私は、ギリシャ神話のような結末を想像してしまうのだ。

cf. 接ぎ木（つぎき）とは、植物の枝や芽を切り取り、他の植物に接合・癒着させ、1つの個体とすること。



遺伝子組み換えでない(魚×とうもろこし)
2017年 キャンバス、アクリル
45.5×30.5cm



遺伝子組み換えでない(とうもろこし×人参)
2017年 キャンバス、アクリル 40.5×30.5cm

遺伝子組み換えでないのための写真素材撮影風景







100%オーガニック食材を使用し撮影。



















レザー料理(革ベルトの四川風炒め)
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×35.5cm
個人蔵

レザー料理シリーズのコンセプト

国連の報告書「世界の食料安全保障と栄養の現状2017」によると、世界の飢餓人口は8億1500万人にも上る。一方、先進国を中心に年間30億人分以上の食料（13億トン*）が廃棄されている。恐るべき現実であるが、この種の情報は繰り返し報じられ広く知られているせいか、もはや我々を驚かせない。

本シリーズは、この世界にパラレルに存在し続ける飢餓と飽食のいびつな構造を表象する試みである。ベルトやバッグなど皮革製品を食材とし、これをレザー料理というひとつの食のジャンルとして扱う。何かの比喩ではなく、実際、戦時の極限状態でベルトを煮て食ったというような話はいくつもあるし、チャップリンが映画「黄金狂時代」の中で、飢えに耐えかね革靴を食うシーンは有名である。その反面、レザーは高価なマテリアルとして、特に高級ブランドとは切り離せない。この二面性を持つ素材を調理し、さも美味そうな料理として提示することで、この悪い冗談のような現代社会を切り取ってみせたい。

*国連食糧農業機関（FAO）発表の情報を参照



レザー料理(革靴のクリームシチュー)
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×35.5cm

レザー料理のための写真素材撮影風景





革ベルトや革靴を洗浄、解体し、一口大に切り分け、調理して撮影。













I Love America (ドルナドクマ: クッマグッビ)
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×45.5cm

I Love Americaシリーズのコンセプト

8月は、日本人にとって戦争の記憶濃くなる季節である。原爆や終戦に関する特番が組まれ、広島で行われる平和記念式典は全国に流れる。特に広島で生まれ育った私は、幼少の頃より戦争の話に触れてきた。祖父などは被爆こそ免れたものの、原爆の落ちた音を聞いたという。そうして先の大戦に思いをはせる時、アメリカという存在が中央に屹立してくる。

本シリーズは、日本人にとっての戦争、ひいてはアメリカとは何かを問うものである。そこで「敵性語」という社会運動にフォーカスしたい。戦時中の日本では、英語は敵性語だとして使用が禁じられていた。そのため、たとえば野球においてはストライクを「よし」、ボールを「だめ」などと表現した。注目すべきは、そのモノやコト自体は禁止されず、ただ言い換えた上で容認されていたことである。

結局、戦中から現在まで、日本はアメリカが大好きなのではないか。しかしそれは屈折した感情で、だからこそ敵性語のような茶番じみた解釈が必要とされた。私はこれに倣い、アメリカを象徴する食べ物であるハンバーガーを単純にひっくり返す。と、たちまちそれは憎き敵国のものであることをやめ、好ましい別ものに変容する。かつて日本が行っていたのは、まさにこの種の滑稽な解釈ではなかったか。むろん、一億の命を賭した真剣な解釈だったことも合わせて考えなければならないだろう。(2018.8.15)



I Love America (グンキーガーバ: ズーチーパッワルブダ)
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×45.5cm



I Love America (ドルナドクマ: ーガーバフービスガンア)
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×45.5cm



I Love America (ンキチドイラフーキッタンケ: ーガーバツカリト)
2018年 キャンバス、アクリル 45.5×45.5cm

I Love Americaのための写真素材撮影風景







単純にハンバーガーをひっくり返したところを撮影。



















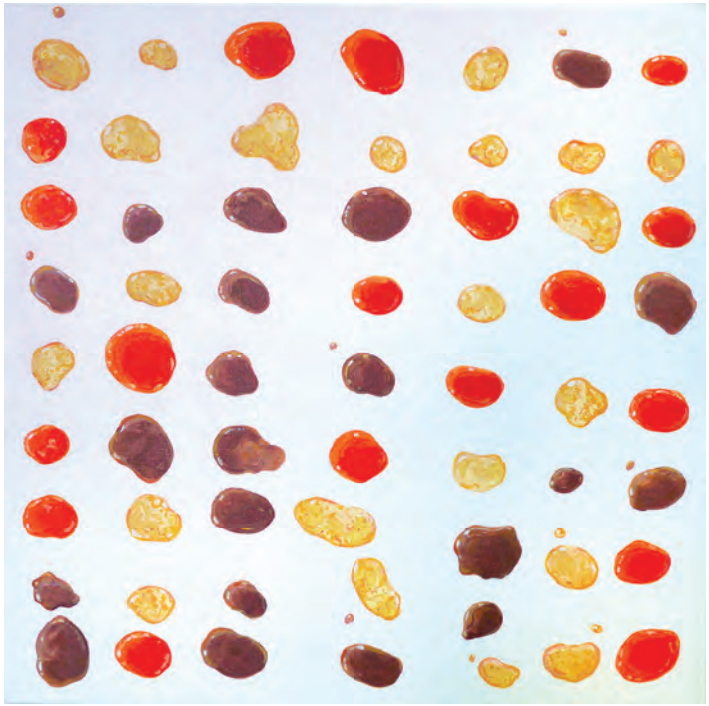
Paste Abstraction No. 10, 2018
2018年 キャンバス、アクリル 76×76cm

Paste Abstractionシリーズのコンセプト

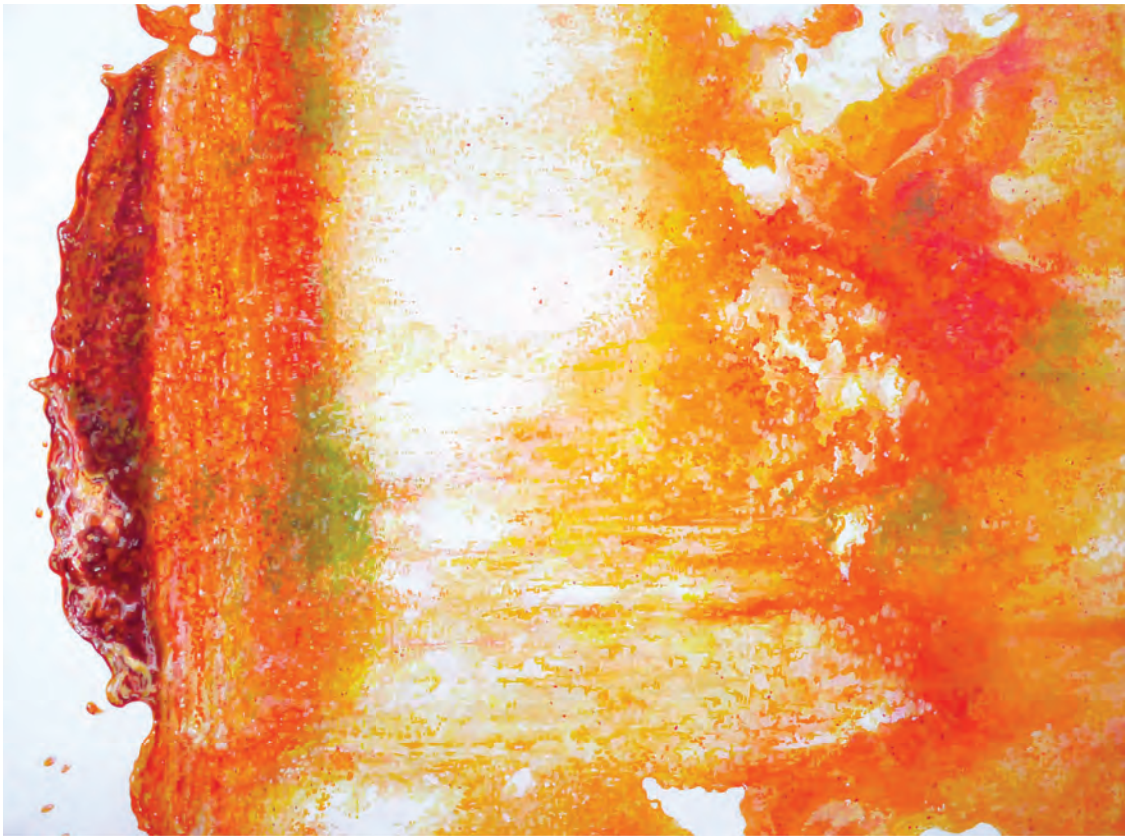
人間が生まれて初めて口にする自然物は、流動食（離乳食）である。それは、人間が地球の生態系の中の一分子として歩み始めたことを証する食物でもある。一方、病や老いといった死が近いところで口にするのもまた同じように流動食である。
そのように考えると、流動食とは、この世界への参加と離脱、つまり生と死という、相反する性質を持つアンビバレントな食物だといえるのではないだろうか。本シリーズは、流動食に内包されている両義性をあぶり出そうとする試みである。
流動食を、打ち水のようにぶちまけたり、ストライプやドットといった規則的なパターンとして配置したりする。それは、何かを調べる際の基本である、切る・砕くといった分析解剖の態度である。そこには自ずと、生と死とが交互に、あるいは混交して、消えつ浮かびつするのである。
cf.離乳食は乳児用の名称であり、流動食という食事形態に、離乳食は含まれる。



Paste Abstraction No. 6, 2018
2018年 キャンバス、アクリル 60×60cm



Paste Abstraction No. 5, 2018
2018年 キャンバス、アクリル 30×30cm

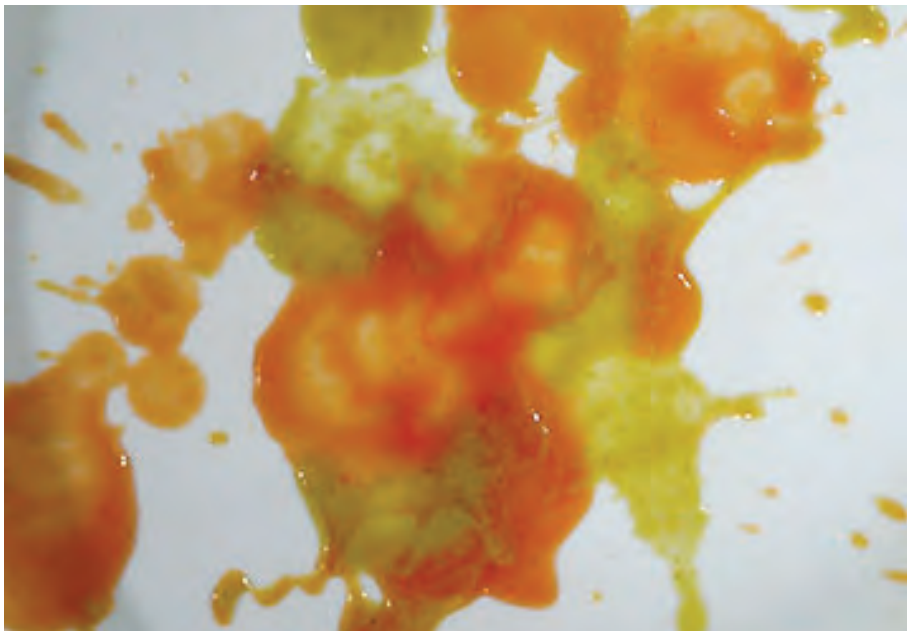


Paste Abstraction No. 9, 2018
2018年 キャンバス、アクリル 45×60cm



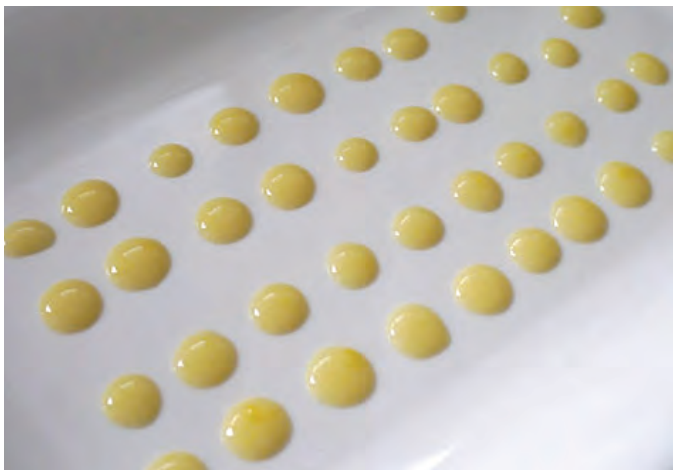
Paste Abstraction No. 7, 2018
2018年 キャンバス、アクリル 45×60cm

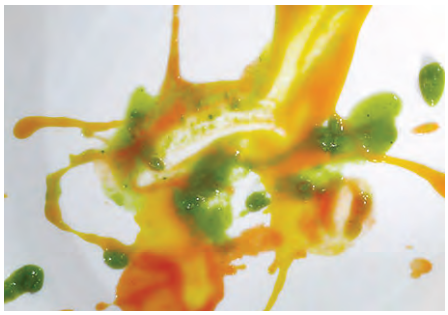
Paste Abstractionの写真素材撮影風景





幼児用の離乳食と、老人や病人の介護用の流動食を用意して撮影。









要冷凍 #106-3
2017年 キャンバス、アクリル 45.5×30.5cm

要冷凍シリーズのコンセプト

アメリカの思想家デイヴィッド・ソローが湖畔の森の中に丸太小屋を建てて自給自足の生活を送った記録「ウォールデン森の生活」を発表したのは1854年のことである。それは急速に工業化する時代にあって、ひとつの自然回帰の実践であった。それから150年あまり、彼のような骨太な行動は叶わなくとも、現代でも自然な生活を志向する人は少なくない。ナチュラルライフ、LOHAS、持たない暮らしと、表現こそ変われど都市工業化に対する反骨としての自然志向という構造はソローの時代と大差ない。

本シリーズは、現代における自然な生活とは何かを問うものである。モチーフには、人為的操作なしには存在しないアイスクリームを用いる。そのパッケージには「要冷凍」という表示がつきものであるが、今日では誰もそれに疑問を感じない。しかし、改めて考えてみれば、近代発明されたテクノロジーを前提とした要請に他ならない。その人工産物であるアイスクリームを、自然の状態へと、つまり常温に戻す。それは否が応でも人工的でしかあり得ない現代社会において、無邪気に自然回帰を試みる構図そのままではないだろうか。そしてドロドロに溶け出すそのさまは、我々の思い描く自然な生活がどのようなものであるか、またその行く末を暗示するのである。



要冷凍 #106-1
2017年 キャンバス、アクリル
45.5×35.5cm

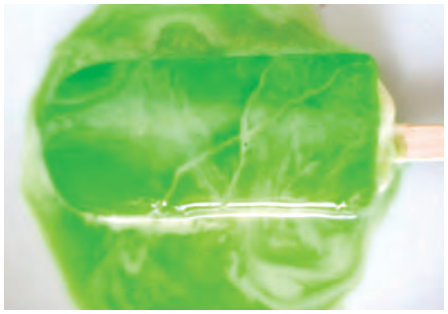


要冷凍 #106-2
2017年 キャンバス、アクリル
41 ×30.5cm

要冷凍のための写真素材撮影風景







アイスクリームを常温に戻し、溶けたところを撮影。



















Apple (創世記 9:1)
2019年 キャンバス、アクリル 35.5×45.5cm

Appleシリーズのコンセプト

2017年に米民間団体「グローバル・ライフ・キャンペーン（GLC）」に発表された「中絶世界報告書」によると、世界の中絶件数は過去100年間に10億件を超えたという。同団体のトーマス・ジェイコブソン氏は、これを「史上最悪のジェノサイド（大量虐殺）」だと述べた。

本シリーズは世界各国で今なお論争の続く中絶の是非を問うものである。そのモチーフとして、聖書においてアダムとイブが口にし、知恵の実ともいわれるリンゴを用いたい。まず、リンゴを専用の器具を用いて芯、つまり種子を抜く。そしてごくありふれた静物画のように配置して描く。極めて凡庸でありながら、そこに生じる緊張感をともなう不自然さは、人類における中絶という行為がなんであるかを物語ってはいないだろうか。



Apple (出エジプト記 21:22)
2019年 キャンバス、アクリル 30.5×40.5cm

Appleのための写真素材撮影風景





日常の食事をミキサーにかけて、ホイップの要領で絞り出して撮影。












人種のるつぼ(コーラ×寿司)
2017年 円形キャンバス、アクリル 30×30cm
個人蔵

人種のるつぼ シリーズのコンセプト

近年頻発するテロを論じる際、「民族間の対立」というキーワードを外すことはできない。もはや決まり文句の感もあるが、それでも一定の説得力を持ち続けている。一方で、多民族国家と呼ばれながら安定し、繁栄している国がある。アメリカをはじめ、カナダ、オーストラリア、そしてシンガポールもまたそのひとつである。つまり、民族の違いそれ自体の問題ではなく、対立こそがその問題の本質だと言えるだろう。

本シリーズは、民族間の関係性がテロという暴力として噴出する現代、その共存可能性を問う試みである。さまざまな料理・食材を組み合わせて、一緒くたにして煮る。コーラと寿司、コーンスープとグミなど、そこにルールや制限はない。異なる民族同士の出会いは、常にそのような暴力性と共にあったことは歴史をひもとくまでもない。とにかくはごちゃ混ぜにして煮る、煮詰めるのである。Melting Pot（人種のるつぼ）という表現そのままに、個々の民族の文化や価値観を混ぜて、溶かす。しかし、果たしてそれが我々の賞味に耐えうるものであるかどうかはまた別の問題である。

cf.「るつぼ」とは、物質を溶解・合成させるための耐熱容器。また、「人種のるつぼ」とは、多種多様な人種・民族が混在して暮らしている都市、またはその状態を表す言葉。イギリスの作家イズレイル・ザングウィルの戯曲「坩堝（るつぼ）」からきている。



人種のるつぼ(コーンスープ×グミ)
2017年 円形キャンバス、アクリル 30×30cm



人種のるつぼ(ラクサ×ビリヤニ)
2017年 円形キャンバス、アクリル 30×30cm

人種のるつぼ のための写真素材撮影風景







さまざまな食材・料理を土鍋でぐらぐらと煮込んで撮影。







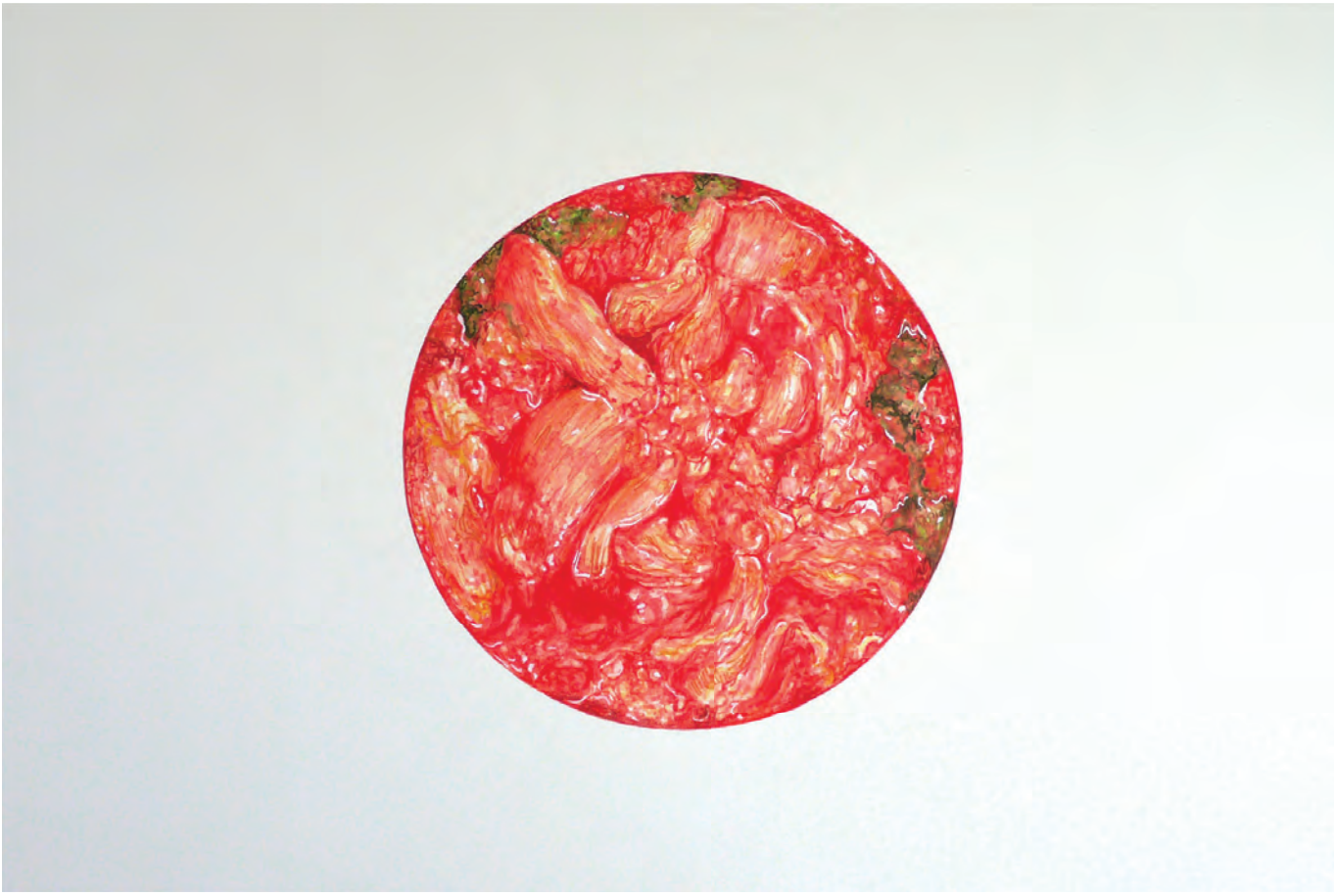












Japanize!(キムチ/韓国)
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 26×39cm

Japanize! シリーズのコンセプト

四方を海に囲まれている日本は、長い鎖国もあり、現代でもなお島国根性が根強い。日本人にある宗教や国家、民族に対する意識の低さは随一である。たとえばイスラム教＝危険、アフリカ＝飢餓、アメリカ人＝白人といった誤認はいまだに根強い。あらゆる分野においてグローバル化が浸透し、必然的に世界の中における日本の立場を問われる現在、それはリスク以外の何ものでもない。
本シリーズは、そのような日本人の島国根性的まなざし（独断・偏見・先入観）を、あらゆる国や民族において思想文化の根幹をなす食をモチーフとして具現化させようとする試みである。世界各国のさまざまな食品・料理を円形の型枠にぎゅうぎゅうに押し込めて型どる。それを、日本の国旗の比率の支持体に、日の丸に見立てて配置する。即ちJapanize(日本化)である。



Japanize!(ハンバーガー/アメリカ)
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 26×39cm



Japanize!(ポトフ/フランス)
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 26×39cm
個人蔵



Japanize!(フィッシュアンドチップス/イギリス)
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 26×39cm
個人蔵

Japanize!のための写真素材撮影風景





キムチやケバブ等、各国の料理を丸型の型枠にはめ込んだ状態で撮影。












Double Flag-Aug 27,2017 at 279 Changi Rd, Singapore 419759
2017年 キャンバス、アクリル 30×40cm

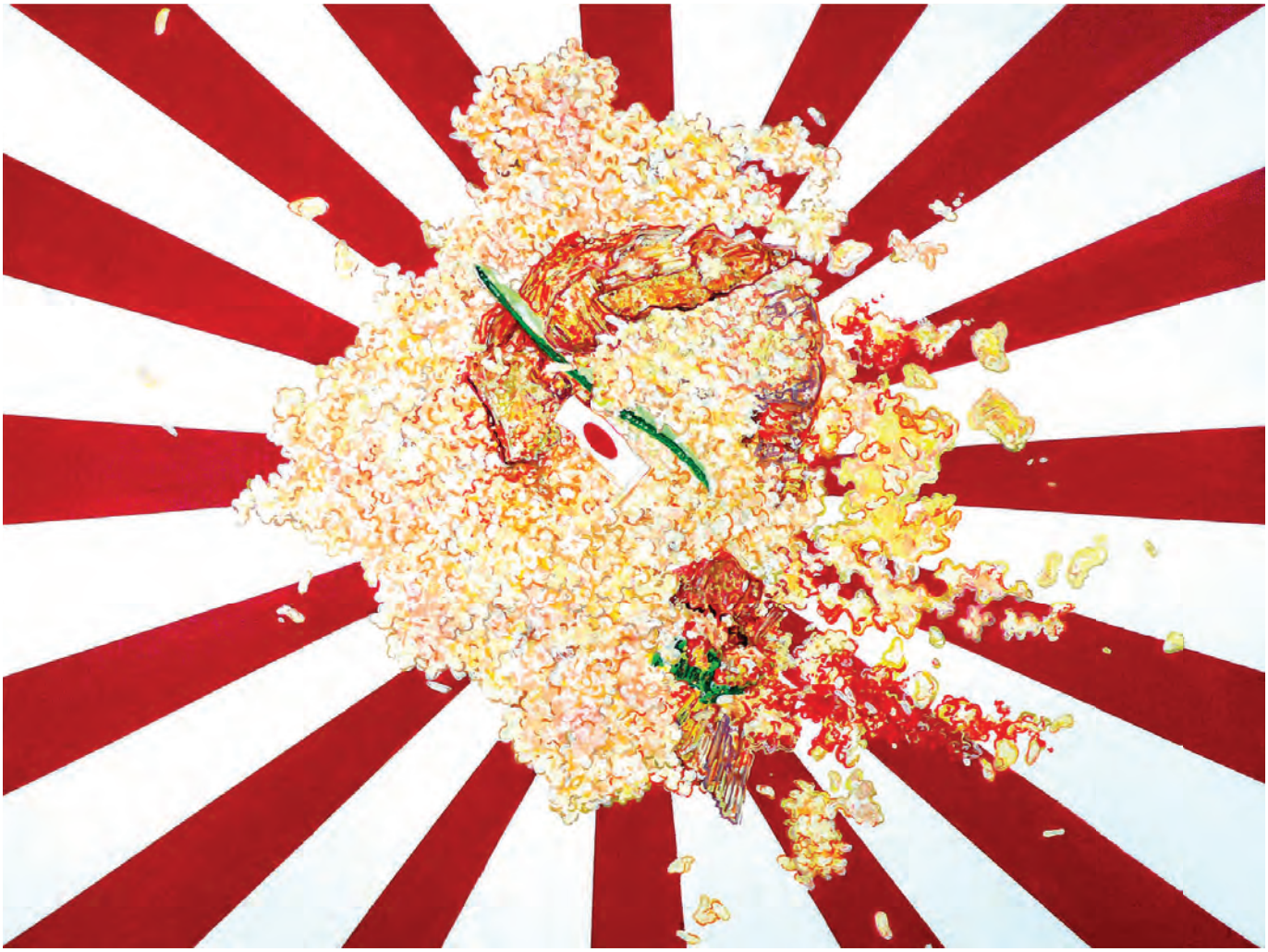
Double Flagシリーズのコンセプト

日本は1942-1945年までシンガポールを占領し、昭和の時代に得た南の島ということから「昭南島（しょうなんとう）」と名づけた。それから70年あまり、現在シンガポールはアジアを牽引するほどの繁栄を誇り、その痕跡など何も残していないかのように見える。一方、その時代を生きた老人の口からは容易に「SYONAN」という言葉を引き出すことができるし、シンガポール国内に慰霊碑や資料館の類は少なくない。しかし、日本や日本人が攻撃されるようなことは皆無である。

他でもない日本人である私の目に、この状況はいかにも奇妙に映る。今ある現実の軽さと、歴史的事実の重さ、そのギャップを感じざるを得ないのである。

本シリーズは、日本とシンガポールの過去と現在を照らし合わせ、問い直す試みである。シンガポールの日常のありふれた食事を切り取り、日本のお子様ランチに見られる日の丸の爪楊枝を刺す。それは他愛ない飾りとも言えるが、背景に旭日旗を用いることで現実的な意味合いを帯びる。国旗を突き立てるということはしばしば征服の意味を持ち、旧日本軍の軍旗であった旭日旗については言わずもがなである。

旗の上の旗、記号的な軽さと現実的な意味の重さ、はたまた単なるアートか看過できない政治的プロパガンダか――さまざまな意味において二重（Double）構造とすることで、いわゆる歴史認識というものの本来的な曖昧性を炙り出したい。



Double Flag-Aug 21,2017 at 191 E Coast Rd, Singapore 42889
2017年 キャンバス、アクリル 30×40cm

Double Flagのための写真素材撮影風景







シンガポール現地のホーカー（国営の食堂）にて撮影。



















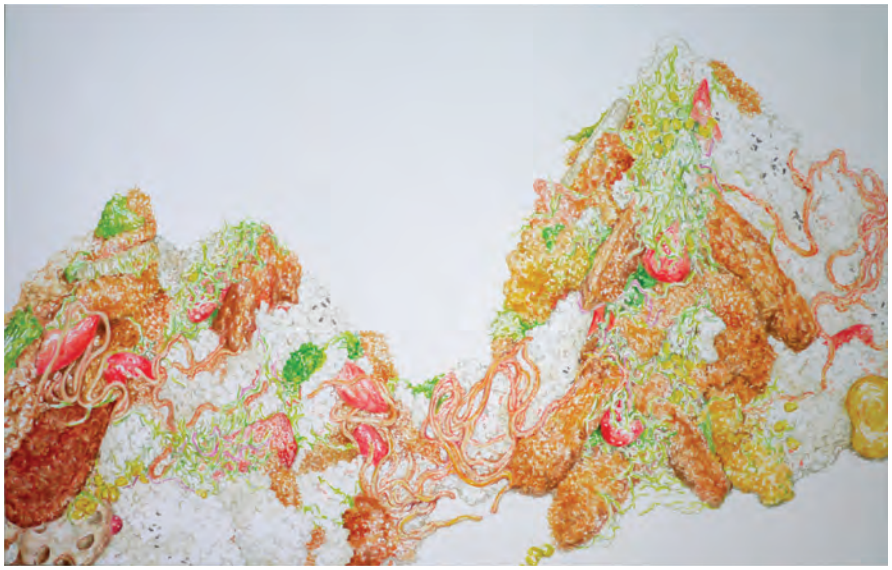
コンビニ弁当の山 #41-04
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 45×33cm
個人蔵

コンビニ弁当の山シリーズのコンセプト

コンビニから出る一日の廃棄量は、 弁当に換算して1店舗あたり平均30個といわれる。例えば日本全国のセブン-イレブン1万7000店舗で考えれば51万食分、金額にして2億5500万円分となる。これが365日、コンビニ各社の各店舗から出ているのである。
この廃棄されるコンビニ弁当を集めて積み上げれば山になる。むろん、実際にそんな山を目にすることはないのだが、日本中に確かに存在するコンビニ弁当の山を具現化した作品が本シリーズである。
私は、このコンビニ弁当の山は、日本における霊山にあたるのではないかと思っている。なぜなら、米一粒にも神を見出す日本人の宗教観を踏まえれば、当然そこには神が住まうからだ。白米をはじめ、唐揚げ、卵焼き、スパゲッテイ、漬け物など、そのひとつひとつに神がいる。つまり八百万の神がいる山となれば、それこそ霊山と呼べるのではないだろうか。
ただし、それは廃棄される神でもあるわけで、時に神は、賞味期限切れと同時に死んでしまっているのだろうか。または、輪廻転生してどこかに生まれ変わるのか。あるいは、神は無力で、なされるがままに捨てられ、殺されるだけなのか。それ以前の問題で、そもそも神などいないのかもしれない。
現代の宗教画ともなりえるコンビニ弁当の山の前で、自分を含めたすべての人に問いたいと思う。



コンビニ弁当の山 #41-03
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 130×162cm



コンビニ弁当の山 #41-01
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 33×53cm
個人蔵

コンビニ弁当の山のための写真素材撮影風景





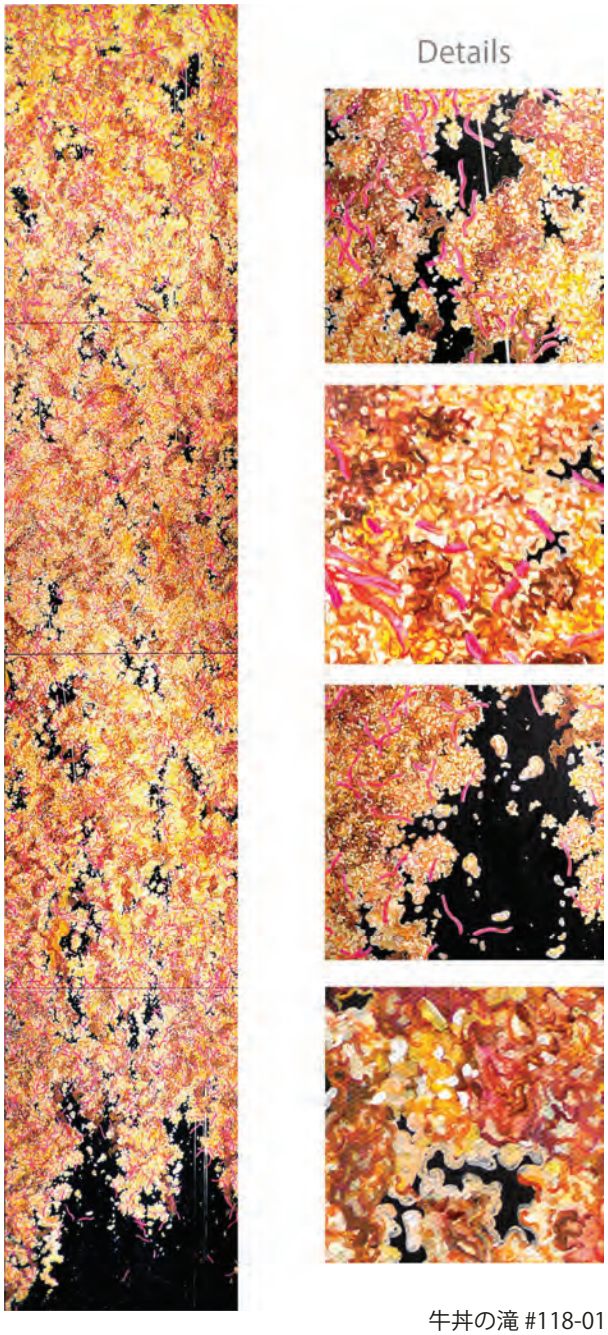
コンビニ弁当を山のように積み上げて撮影。









牛丼の滝 #118-01
2017年 キャンバス、アクリル 290×50cm

牛丼の滝シリーズのコンセプト

早くて安くて旨いというコンセプトで、サッと出てきて、チャチャッと食べる。惰性的に、作業的に、あるいは単なる熱量、カロリーとして食べる。それは、味わうものではなく流し込まれると言ってもいいような食文化であり、そこには本来の「食べること＝生きること」というような生命観、あるいは倫理観は微塵もない。現代日本をはじめ、飽食の先進国においては至極普通のことであるが、立ち止まってよくよく考えてみると、どこかそら恐ろしい感じがしやしないだろうか。そのような危惧と問題提起を、日本の代表的なファーストフードである牛丼に象徴させて、大衆の胃袋に無秩序に際限なく落ちていくイメージを、牛丼を落下させ"牛丼の滝"のような構成にすることで表現している。



牛丼の滝 #117-01
2016年 パネルにキャンバス、アクリル 45×27cm



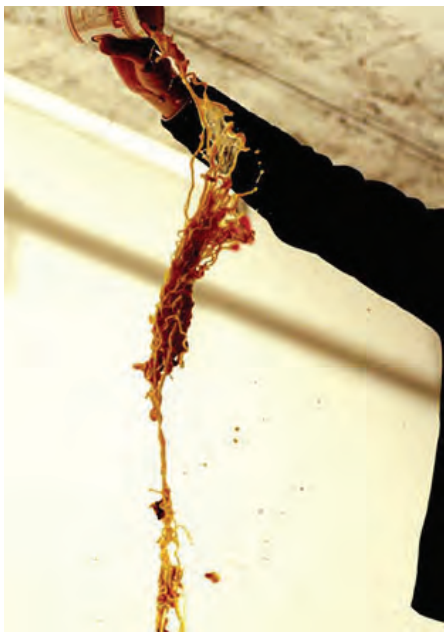
牛丼の滝 #116-02
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 41×24cm
個人蔵



牛丼の滝 #115-05
2014年 パネルにモンバル紙、水彩 41×24cm

牛丼の滝/カップヌードルの滝のための写真素材撮影風景





実際に牛丼・インスタントヌードルを落下させ、プロカメラマンにより高速度撮影。













撮影：新見幸樹、東間 嶺　撮影協力：樋口師春

牛丼の滝のインスタレーションのための映像素材撮影風景

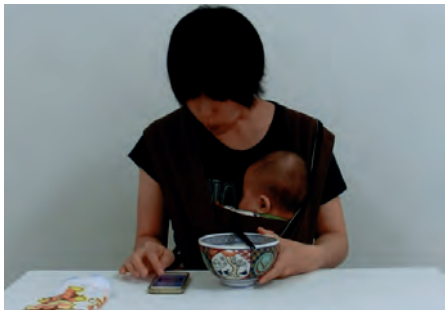




高知県にある沢田マンションの住人を中心に協力いただき、牛丼の食事風景の動画を撮影。





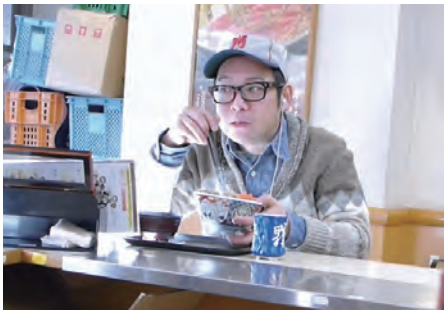





吉野家での牛丼の滝のインスタレーションのための映像素材撮影風景







吉野家の実店舗にて、飲食風景の動画を撮影。







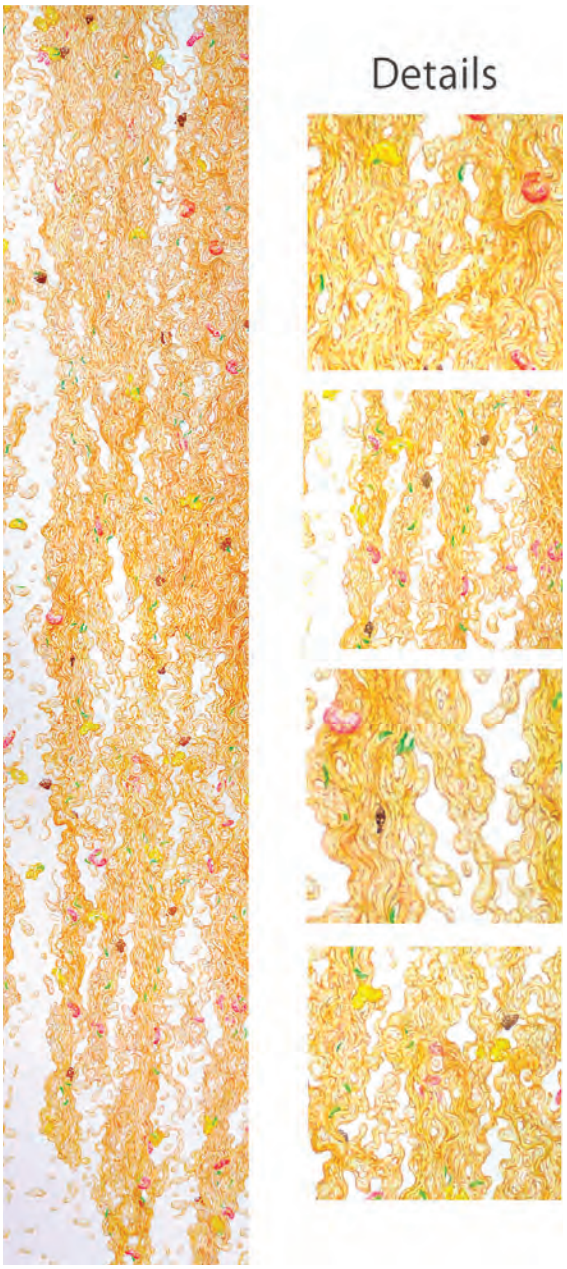












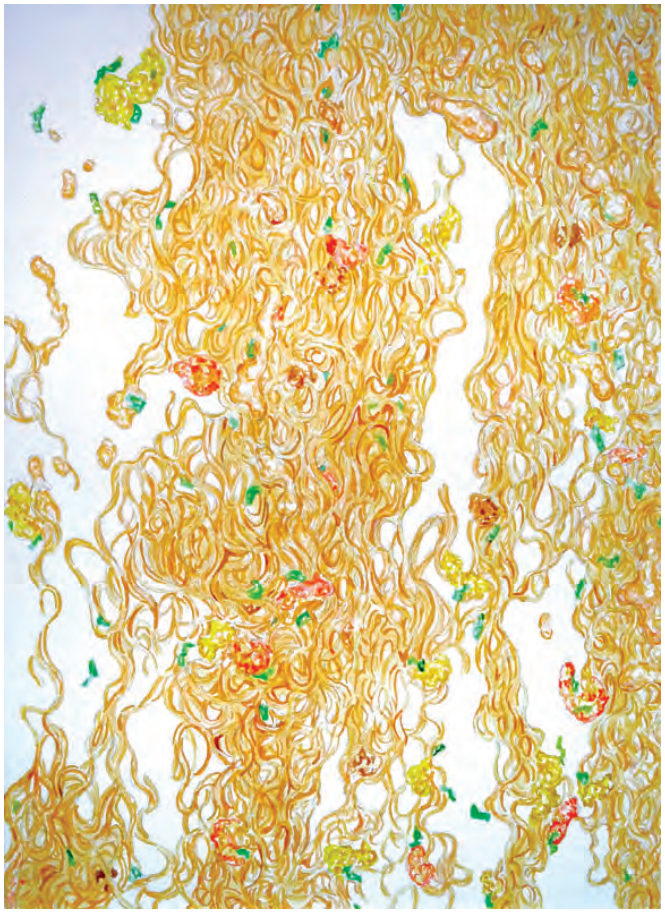
カップヌードルの滝 #44-01
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 123×24cm

カップヌードルの滝シリーズのコンセプト

日本を代表する食の発明品カップヌードルは、究極の合理的な食事である。
容器と食物の一体化。お湯を注いでたった3分。誰が作っても同じ味。食べ終わればごみ箱へ。その簡便さとスピード感は、日本人の生活そのものを変えたと言っても過言ではない。たとえば、ひとりでの食事、いわゆる孤食の増加に一役買った。食べるという行為自体を単調で作業的なものにした。あるいは、食物とは何かという概念を拡張・変容させたとさえ言えるのではないだろうか。
なにはともあれ、良くも悪くもカップヌードルは消費され続けている。それは、豊かさと貧しさのどちらを象徴するのだろうか。
あらゆる場面、あらゆる場所で、ずるずるずると、”合理的かつスピーディに”、延々と胃袋へと落ちてゆく。そのようなイメージを、カップヌードルを落下させ”カップヌードルの滝”のような構成にすることで表現している。



カップヌードルの滝 #44-02
2015年 パネルにモンバル紙、水彩 41×24cm



カップヌードルの滝 #43-01
2014年 パネルにモンバル紙、水彩 33×24cm個人蔵

Other Works 2001- 2015



紅白（new year 2016 Jasper Johns remix ver）
2015年 パネルにモンバル紙、水彩　30×30㎝
個人蔵



パンがなければお菓子を食べればいいじゃない的な甘く美しい三ツ星(欧米的または中国的あるいは旧ソ連的な理想・幻想としての星形に矯正された日本のいちご大福とアメリカのドーナツとフランスのマカロン)　2015年 パネルにモンバル紙、水彩　27×41㎝
個人蔵



印象・日の出（new year 2015 yoshinoya gyudon remix ver）
2014年 パネルにモンバル紙、水彩　30×30㎝
個人蔵



牛丼の人 #116-01
2015年 吉野家の丼、スチレンボード、モンバル紙、水彩、スピーカー内蔵MP3プレーヤー H8.5×1W4.4×D14.4cm
個人蔵



カップヌードルの人 #44-01
2015年 カップヌードルの空殻、スチレンボード、モンバル紙、水彩、スピーカー内蔵MP3プレーヤー H10.7×W9.5×D9.5cm



不自然のドローイング#15
2015年 木製パネルにケント紙、
インクジェットプリント、色鉛筆　53x53cm



不自然のドローイング#11
2013年 木製パネルにケント紙、
インクジェットプリント、オイルパステル　30x30cm



不自然のドローイング#12
2013年 木製パネルにケント紙、インクジェットプリント、
色鉛筆 80.3x65.2cm



不自然のドローイング#13
2013年 木製パネルにケント紙、インクジェットプリント、
オイルパステル 80.3x65.2cm



artificial_01
2009年 カンヴァスにアクリル 145.5×112.1㎝



ZABATT　No.13
2008年 カンヴァスにアクリル
116.7×90.9㎝



フラッシュによる排除 No.05
2007年 カンヴァスにアクリル 130.3×145.5㎝



ニュートラルな余白 No.3
2005年 カンヴァスにアクリル 162.1×130.3㎝



無題
2003年 カンヴァスに油彩、ラッカー(
ステンシル) 72.8×51.5㎝



個の集積が生む虚構 No.13
2001年 カンヴァスにラッカー（ステンシ
ル）、アクリル 121.2×72.7㎝



無題》2002年 カンヴァスにラッカー（ス
テンシル）、アクリル 130.4×53.0㎝